今回

の検察捜査批判のポイントは、

なのか、

捜査の波紋

始まった裁判員制度をめぐり、

これまで指摘され

ていない幾つかの問題について見解を述べたい。

原因はどこにあるのか。

加えて、

五月二十一日に

捕したが、小沢民主党狙い撃ちという見方を含 民主党代表の秘書を政治資金規正法違反容疑で逮

検察に対する異例ともいえる批判が生まれた

方が大きな波紋を呼んだ。

松建設事件では、

東京地検特捜部の捜査の

在

特捜部は小沢

郎

前

けていた与党政治家のお目こぼしという不公正感

総選挙が近いといわれてい

た時期にな

というのが第

一の疑問として上がった。

小沢

イミングに対する疑問と、

西松側から献金を受

秘書逮捕

0



毎月一回一日発行 昭和40年2月20日 三種郵便物認可

2009

発行所 新聞通信調査会 電話 03(3593)1081

http://www.chosakai.gr.jp/

目

七月号

批判と最近の司法の動き:

安達

功

·小関

哲哉

6

玉 策捜査」 間 題抱えスター 批 判 と最近 トした裁判 0) 司 員制 の動 度 3

、時事通信社編集局総務

だった。 を期待しているということを強く印象付けた結果 する支持率は大きく上昇した。 小沢前代表のかいらいと見たが、 ということだった。 権担当能力を疑い、 対する世間の期待がマスコミの予想以上に大きい 前代表辞任の後の動きが示したのは、 マスコミは鳩山由紀夫代表を 政権交代と衆参のねじれ解消 国民は自民党の政 鳩山民主党に対 政権交代に

書評::-

『新聞再生』

『新聞・TVが消える日』:

27

調査会だより

「白猫・ ミを取るのは良い猫だ」と言った。 かじを切ったとき、 と考えたのだろう。 分に承知の上で、 小沢一 黒猫論」 郎という政治家の体質につい だったのではない 「豪腕小沢なら、 かつて、 白 猫でも黒い猫でもネズ 鄧小平が開放路線に やってくれる か。 国民の思いも て国民は十 そこに突

功

う声が出てきた。 の青年将校のような過剰な正義感の暴走だとか な波紋が起き、 東京地検特捜部が石を投げ込んだので、 国策搜查 ではないかとか、 かつて

特捜部はその後、 の捜査を特別に行う機関となった。 ファンド事件まで、 まりだ。 物資横流しを取り締まるために設立されたの 東京地検特捜部は 金丸信脱税事件、 経済事件 ロッキード事件、 0) 摘発部隊としてスター 疑獄事件や大規模な経済事件 九四七年、 最近ではライブドア、 終戦 リクルート事 法務検察にお 直 後 トした 0) 村上 が始 政 府

正博

25 24 17 13

②オンライン報道の行方を楽観

金山

広瀬

英彦

)中国の地方紙に2つの脅威

①オーストリアにFペーパーと広告のリング

海外情報 視聴質」 放送時評

議に再び関

心

音

宏:

22

許せない政府高官のウソ

池

田

龍夫:

20

民主第三者委の報道批判

藤

田

討

18

(メデイア談話室)

TV報道に新たな動き(2) 「情報津波」時代のジャーナリズムを考える(下) 米中露3大国の生存度を探る

·鈴木

弘貴 文夫…

14 10

主任検事だった吉永祐介、それと岡村泰孝の三氏査派、現場派といわれる検事たちの牙城である。最も優れた捜査検事が全国から集められるため、島も優れた捜査検事が全国から集められるため、ら法務検察のトップである検事総長になった人は少なく、ロッキード事件の時の検事総長布施健、少なく、ロッキード事件の時の検事総長布施健、かなく、ロッキード事件の時の検事総長布施健、かなく、ロッキード事件の時の検事総長布施健、関係を表している。

こうした関係を抜きに考えることはできない。 井信太郎の捜査手法について「岡っ引き」と言っ 赤レンガ派の意識の違いという点では、 0 たことがあり、 最高の最終ポストと考えられている。 一般的には、 「検察の鬼」と呼ばれた吉永氏の怒りは強かっ 策」の適否については、法務検察内部 が、 戦後最大の特捜検事の一人である河 特捜部の検事は強く反発した。特 大阪高検検事長が 特搜部長経験者 有名な伊 現場派と 0

ており、 で、 長を欠いては裏金の行方は分からない構造になっ 西松建設 表の秘書逮捕に直接つながるポイントとなった。 社長を外為法違反容疑で逮捕したの 事件の捜査を続け、 開けるかという段階に至ったわけだ。 特捜部は昨年五月ごろから西松建設の海外裏金 政界捜査としては極めて短 から三月三 の幹部はほとんど知らなかった。 で裏金を扱っていたのは、 月二十日にようやく政界ルー 日 0 今年一月二十日、国沢幹雄前 秘書逮 捕までわずか一月ほ が、 その結果なの 国沢氏一人 しかし、 国沢前社 トへの道 小沢前代

を生んだ。か、政界ルートの全容解明には至らず、捜査地か、政界ルートの全容解明には至らず、捜査地

政治日程が絡むタイミング

が、もともと制度そのものが形式的で、 うな行為だと感じたからだ。よほど捜査の筋が良 るのかというものだった。 した上で全部公開しているのになぜ摘発対象にな いわれる。小沢前代表の反論は、ザル法を前提と 政治団体を迂回して合法的なようになっている 載してある金で立件した例はない。 徴的で、この事件以前に政治資金収支報告書に記 回の政治資金規正法違反事件というのは非常に特 うことを念頭に特捜部が腹を固めたと考えた。今 いに違いない。 峙しているところへ山の上から大砲を打ち込むよ 全部書いてある」と言った通りだ。 三月三日 の逮捕には驚いた。関ケ原で両軍が 小沢前代表まで行くの 小沢前代表が 企業献金が ザル法と そうい 対な

とにほ たが、 業者から長年にわたり、 偽ることは、 制民主主義の根幹を成す法律。 といわれ、これがもう一つの疑問として挙げられ 千五百万円。これまでは一億円という相場がある に照らしても看過し得ない」 ことを国民 た。東京地検次席検事は 違反の金額も逮捕時が二千百万円、 それ自体、 かならない。 の目から覆 国民を欺いて政治判断をゆがめるこ 着手後に検察が受けた逆風の 国会議員の政治団体が特定の い隠し 多額の金銭提供を受けた 「政治資金規正法は議会 と異例の説明を行 たもので、 政治資金の実態を 起訴 法の趣旨 時 が三 強 0

|査批判 | さを表していたと思う。

り、 ろう。 と思う。特捜部は政治日程に配慮しないと検察幹 と考えるのは、外形的に見れば一定の説得力があ たという点にもあった。 日の段階では本格的な捜査さえなされ 治資金を受け取っていた政治家につ くとも総選挙が終わるまではないだろう。 しまった。与党側の政治家に対する捜査も、 ても、それも致し方ないという反応に変わっただ いうのであれば、 っている。それに対して本格的にメスを入れると の手法を継承した人であることは多くの 批判の理由は、 小沢前代表が田 なぜこの時期にというのは普通の人の感覚だ しかし、 捜査はそうならないまま終わって 同じようにある程度の金 政権交代が不透明になったとし 中角栄的な政治手法、 民主党狙い、 いて、 小沢 てい 国 三月三 民が知 い狙いだ な 額 金 の政

のタイミングは悪かった。現在は中央大学法科大学院の教授をしているののタイミングは悪かった。なぜこの時期にとかレンダーを見てやっていた。なぜこの時期にとかしかが国民の疑問だろうが、私もそう思った」と話している。元特捜部長の宗像紀夫氏は講演で、「私はいつも政特捜部長の宗像紀夫氏は講演で、「私はいつも政特捜部長の宗像紀夫氏は講演で、「私はいつも政特捜部長の宗像紀夫氏は講演で、「私はいつも政

歴史がある。

慎重に政治日程を考えて捜査をやってきたという

部は言ったが、実際はそうではない。

特捜部には

!なってしまうというのは小さな要素ではない二千百万円のうち八百万円が年度末で公訴時効

きなか 合にどう. は 督する責任 のではない であ った。 したと言われても致 状 上がある小児 況 れ ば、 捜査がうまくいかなかった、 しかも、 を か。 激 その 変させたことの 沢前代表の 秘書を法律上、 小沢前代表の し方ない。 事 情 重さと比べ 聴取 事 選任 秘書を立件 情 いは欠か 聴取もで あるい た場 監 せ

えた 「巨悪との 対 決

認めており、 後 玉 0 策 を認 8 査 た捜 債 という言葉につ の言葉はこの時初めて広く使 銀の捜査は検察幹部も国策捜 査がかつて存在した。 11 ては、 バ 、ブル崩 検 公察側 査と わ n 壊 b



西松建設の献金事件で、東京拘置所から釈放された大久保隆 規被告(中央)(東京・小菅、2009.5.26)

は 理に移った破綻金融機関につ というのが検察側の説明だ。 は法律に従ったもので、 部調査を受けて検察庁に告訴した。 るようになった。 旧 経 という義 営陣 を告 務 付けをしてお しなさい 融再生法は 「だから いては (違法性があ り、 国 特別公的 新経営陣は内 新し 策と言える」 要するに捜 W める場合 経営陣 指揮

が

して、 チェ だ」と反発の声が出た。 制 の捜査は変わった。 k る。 大きな役割を特捜部が担うようになった。 た。 その後、 ックによって社会の公正さを確保すると :ら事後チェックの社会へとかじを切 国は規制緩和政策によって事前のチ 鈴木宗男氏の事件、 事 国の 件 は 政策を念頭に置いた捜査が多 世間 部あるい が国 長銀、 日策と呼 は当事者 確かにバ ライブド 日債銀を代表的 À だ捜 , ブル から ァ、 査 は 後、 村上 国 幾 ŋ, ı ツくなっ ック 一ファン な例 特搜 策 0 搜 か 事 11 ż 後 体 部 あ 杳.

にか は談合。 という課 全体の 1 任を取らせるの 金を入れて救済するのだから、 マとなっ 場の :かわる捜査がこれに対応する。 0 動 は金融システムの適正化で、 さらに、 安定も国 題 国 きの中で特捜部は捜査をした。 た。 :まで、 を受け、 地 ゼ 方の は当然という国民の声もあ 券市 ネコン汚職 0 談 政 合 行財政改革に伴う無駄の排除 気策であ 場の 合捜査は特捜部の 排除をずっ かく乱要因 ŋ, から最近の 旧経営陣に経営責 アウトサイダ 長銀、 لح 巨 の排 やってきて 額 もう一 福島県知 大きなテ 0 公的資 除、 ŋ, H I債銀 つ 証 玉

十数年 あり、 新しい とができる。 なかろうか。 ての動きをする波乱要因を排除すると 除もそうした基本方針に沿っ 捜査があ 過激な動 の間に特捜部の捜 ライブドアや村上 少なくとも、 った。 あるいはアウト その結果、 査 の質が変 巨 悪 ファンドの バブル たも サ わ イダ 0 つ いう方針 とみ 対 た 崩 んのでは 壊後 決と 1 と し ような

う捜査の構図

は見えなくなっ

と人脈 守党の が 物だった。 栄という巨大権力者との戦い 護送船団方式時代の金融システムという日 つ スタブリッシュメントに対抗する形 中氏は東大、 つ かっていて、 0) テムを混乱させる要素に力を入れ だった。それが今では国 大看板があったからだ。 論の後押しを受けたのは、 あることも否定できな たのかというと、 ただ、 古い体質、 東京地検特捜部 に続く形で始まった。 組織、 これ という ロッ まだに指 、大蔵省というラインに代表されるエー大権力者との戦いだったわけだが、田も否定できないだろう。捜査は田中角いうと、「そうだ」と言い切れない面いすード事件が本当に巨悪との対決だッキード事件が本当に巨悪との対決だ 事 システムを取り除くという方 そこにはもはや巨 体制 件 0 0 『文藝春 が前に 摘されて 11 0 内部 捜 ては自民党・ 査 田中角 が国民 代表的な例 秋 から食い破ろうとした人 や地方の 巨悪と対決 る。 栄研 丰 悪は登場し 0 ヤン 福 って 古 関 が 査 田 究 で登場し、 心 ~~その いすると 派と る。 体質 ペ \mathbb{H} は を 1 中 引 向に 本社 へやシ き、 0) ンが な 角 0) 金脈 栄氏 深 合 11 保 う 世 向

ては、 中氏 るのは日本の南北問題だと分析した政治学者がい るい続けた結 て定着したと考えられる。 ろうとする人物との戦いだったとも言える。 その意味で 面 が政治的に敗北せずに闇将軍として権力を振 日 現在に至る田中派的なものとの対決につい が見えてくるかもしれない 本の歴史と社会を深く検証することで、 は、 果、「権力との対峙」という形とし ロッ 田中角栄氏の背景にあ K 査は 玉 0 形 田 を

リクルート事件の捜査の際は、金丸信氏が東京 地検特捜部を指して「霞が関に関東軍がいる」と 発言し、永田町対特捜部に喝采を送った。特捜部 うことを聞かない特捜部に喝采を送った。特捜部 の捜査は国民の支持がないと政治という厚い壁に の捜査は国民の支持がないと政治という厚い壁に のき当たる。特捜部幹部は国民の支持が得られる」と かどうかを念頭に捜査の際は、金丸信氏が東京

反小沢色強める官僚

れず、今後の特捜捜査の大きな課題だ。小沢前代表はごう慢だとか、秘書が捕まった時のが少ないのは、大きな失敗だった。国策捜査といが少ないのは、大きな失敗だった。国策捜査という声だ。しかし、特捜部に対してよくやったという声説明が強引だとかいう面で、小沢批判は強まった時のでは今回、国民の支持を得られたのかどうか。

も、そのような話を何度か聞いた。それが事実かう指摘があった。地元の『福島民報』の記者から福島県知事汚職の時には「強引な捜査だ」とい

と、 る。 で、 NTTル 担っている特捜部にとって良いことでは に納得できないけれども、 えている。 長となった熊崎勝彦氏が検察官として立ち会っ ていることに大きな問題がある。 どうかというより、 た。その時、 そういう状況ではない。これは国 立派な方だという言葉が出てくるかという 取り調べも紳士であった」と述べたことを覚 ートの真藤恒氏の公判では、後に特捜部 現在、 真藤氏が 福島県の前知事が法廷で、 地 元の人たちがそう受け取 「熊崎検事は立派な方であ 取り調べの検事は紳士 リクル |民の期待を ルート事 な 確か

国の政策に沿った捜査を続けた結果として、検国の政策に沿った捜査をしては、心配だと言わざだ。そういう緊迫感が薄れたのではないか。かつ感、緊迫感を持ちながら捜査をしたという危機は失敗したら特捜部そのものが危ないという危機は失敗したら特捜部そのものが危ないという危機は、緊迫感を持ちながら捜査をして、検系を得ない。

り、 なり、 察首脳会議 部長が法務検察の ○○二年の鈴木宗男氏逮捕を前に開かれて以来、 が、現在は御前会議と呼ばれる会議は行われなく 首脳会議 大きな事件では、 捜査に最終的にゴーサインを出 小沢前代表の秘書逮捕の際もなかった。一 が必ず開かれた。 度も開かれてい 幹部を回っ 強制捜査に着手する前には て説明 検事総長以下 ない。 特捜部長や副 Ļ す。 最 ところ -が集ま 収後に総 検

問題があるのかもしれない。

市日、法務省の刑事課長に上がったの方法にもったのだ。着手の時期や影響の検討という面で不ったのだ。着手の時期や影響の検討という面で不力な点があったとすれば、意思決定の方法が変わける。今回、総長へは長のところへ行って了解を得る。今回、総長へは長のところへ行って了解を得る。今回、総長へは

方で、 喝采を送ったのではなかろうか。 る事実もある。 かどうか、検証は難しいが、 小沢前代表を取り除きたいという意識が働い ていたのではないか。 反小沢の意識 も特捜部はそのような検事の集まりではない。 くんで三月三日に着手したとは思えな て着手を知らされたとすると、 ではないか思う。 意を受けたものだったかというと、 では、 霞が関の官僚は秘書逮捕に対し、 小沢前代表の秘書に対する捜査が があり、その意識を検察庁も共有 法務省の刑事課長も直前になっ 総選挙で民主党が勝つ前 そのように受け 検察が政 霞が関には広く それは ひそかに 府の意を 違うの `与党 そもそ 取 た

判員制度の根本問題

程度はあまり 業裁判官が という立場から、 かわりたくないという理由だ。 的に負担が大きいだけでなく、 を挙げる。 賛否もはっきりしている。賛成派は 裁判 員制度に関する議論は広く行 れり、 一方で反対する人も多く、 参加 その 裁判への民意の反映という理 したくないと言っている。 ために司 人を裁り 人を裁くために職 わ 市民 国民の半分 くことにか れ 7 参加 お 経済

は 度があ ないかということだ。 裁判員の 育 成システムが あるの で

実 答えで、 生には強く支持していただいている」という答え 理 は間違っていなかったと思っている。 が める声が強まった。「やはりそうか」という感じ いう疑念は 意味から離れて乱用され、 施が近づくに従 返ってきた。「やはりそうか」と思った。この ニーズは?」と尋ねると、 一解を求めたことがあった。 司法制度改革、 私はある疑念を抱いていた。二○○二年か○ 制度導入の目的は報道規制ではない 一層強まった。 度 弁連の幹部が報道機関と個別に懇談 の導入が決 特に裁判 「推定無罪」 まりつつあ その後、 事件報道 「自民党の部会の先その際、「国民の側 員制度導入につい の原則 裁判員制度の ったころ の抑制を求 が本来 かと 7 か

分は裁判所職員

裁判員 庁 が主権者として参加する制度にはならなかった。 ても市 参 0 裁判所 加」と言う人は多いが、 は 「国民が参加させられる制度」が正確 何者 判員 は法に裁 1 ムペ 職員 制度の根本的な問題は、 参加と言える制度ではないことは明らか かという点にある。 司 という言葉があるが、 1 法制 判 ・ジには、 というの 員の 度改革審議会の意見書には、 身分規定はな 日当 が法務省の見解 裁判員法を読めば、と 日弁連を含め「市 の 課税問題 実際には国民 判に参加する に関連 だ。 「非常勤 な理 玉 税 民

0

て、 3判員が 「非常勤 裁判所職員」でいいの 判所職 員」と明記している。

単なる言葉の問題ではなく、 る本質的 加」と言う人たちはもっと議論すべきだ。これ な問題ではないかと思える。 制度の 在り 方に関 「市民 は す

あいまいな守秘義務の範囲

るが、「その や裁判員や裁判官の意見、 らないとしている。 るように示せという付帯決議を行っているが、今 員会が、守秘義務の範囲について国民によく分か 密その他、 日まで実行されていな 示されていない。法律ができた時、 指摘しなければならな 同時に、 守秘義務の範囲が不明確であることも 職務上知りえた秘密」を漏らしてはな 他、 職務上知りえた秘 「評議 61 その数と明示されてい 0) 裁判員法は 秘密」 衆参の法務委 は評議の経過 密」の内容は 「評議 の秘

だが、 0 判員経験者に呼び掛けて記者会見を行いたい考え 説明され 秘義務に違反するかもしれないという不安は大き 経験を社会が共有することを妨げる恐れがある。 いとなれば、 に参加するのは素人なのだから、 裁判 経験や見解を話すだろうか。 法律専門家には分かるのかもしれない しかも、 員制 守秘義務に関する不安は、 ても、 度には、 主権者として裁判に臨むわけでもな 裁判所から感想などは話してよいと あえてリスクを背負ってまで自分 もう一 つ大きな問題がある。 日本新聞協会は裁 自分の発言が守 裁判員としての が、 裁判

裁判員裁判はすべて公判前整理手続きを経て公判

開で、 ねない うした手続きの大部分はこれまでは公開の法廷で と、争いのない事件の場合は本質的な部分は非公 この手続きであらかじめ争点を整理 で行うの 開の手続きで済んでしまい、 てないので非公開であるという説明だ。 れる。なぜ非公開 行われていたものだが、 いて認否を示し、 を迎える。 裁判官、 は情状の評価だけということにもなり 裁判員裁判を数日で終わらせるため、 検察官、 証拠や証人の採用を決め かというと、 公判前整理手続きは非公 弁護人の三者だけで行 裁 判員 法律に公開と書 が加わる法廷 そうする 罪 る。 状に

だ。 考えている。 裁判を受ける権利を保障していることを忘れては なるかもしれ て払しょくされるかもしれないし、 ら議論され、 ならない。公判前整理手続きの い裁判が常態化する可能性もある。 の場合、 ないと思っているように見える。 定になることを心配し、いろいろ工夫をし んと見てい 迷える子羊」である裁判員を導かなけ 恐ろしい 裁判所も裁判員制度によって法的判断 部を要約した 五月 内容の濃い公判前整理手続きと内 かなけれ 0) ない。 裁判員裁判が始まれば、 公開が実現されなければならないと は、 一十日 裁判 ばいけな 報道に携わる者として、 同 員 盟 裁 クラブで行 判 いと思っている。 が 在り方はこの点か 儀 そうすると最 現実のものと 式 憲法は公開 心配はすべ 化 れば れ すること [容の薄 断が不安 た講 なら て、 演

3 大国

(国際問題研究所ATWI代表)

だに脱し切れず、 らんでいる。ロシアは体制崩壊後の混乱からいま から揺らいでいる。 済面で一極支配を支えてきた金融資本主義が根底 フガニスタン、イラクの戦争に体力を消耗し、 かにして再構築するか、 て総括することができず、 してきた中国も、 はじめとする十五の共和国に分裂した。 すさまじい勢いで、 次々に崩れ去った。 には壊れ ないと誰もが信じていたシステム 二十年前の天安門事件を今もっ 超大国としてのステータスをい 経済力と軍事力で急速に台頭 世界が変わっていく。二十 暗中模索している。 ソ連は自壊し、 内部に重大な矛盾をは ロシアを 米国はア 経

システムの生存度を探るのが、 二十年後の二〇三〇年、 で地球上に存在しているか。 米中露三大国はどん 小論の試みである。 主権国家としての な

なぜ二〇三〇年なの

ン・ショックで陰の主役とうわさされた米国第一 をはるかに超えている。 新興工業諸国 〇三年 の投資銀行ゴールドマン・ はるかに超えている。世界を震撼させたリーマなぜ二〇三〇年を選んだか。変化の速さは想像 十月、 が急成長し、 ブラジル、 ロシア、 二〇五〇年には中 サックスの女性社員 インド、 中 玉 玉

> として世界中でもてはやされ が米国を抜いて国内総生産 るという論文を発表、これが「BRICs G D P 世界一に 理 な

ライスラーが相次いで破綻し、政府の資金援助で車産業も、ビッグスリーを構成していたGMとク のがほぼ確実になった。 宅金融公社、 年中に米国を抜いて世界最大の自動車 実上国有化した。米工業力のシンボルだった自動 を一変させてしまった。 震源地に発生した金融恐慌は、 時国有化された。片や成長著しい中国は、 だが〇八年九月十五日、 保険会社に公的資金をつぎ込み、 米政府は大手の銀行、 ウォールストリートを すべての前 市場になる 提条件 〇九 事 住

ぎる。 五大陸の高 ーンランド、 激しい潮流が、ごう音を立てながら走り始めている。 マイナス成長に落ち込んだ。二〇五〇年では遅過 直撃を受けたロシア、そしてブラジルも○九年は は辛うじてプラス成長を維持したが、 地球環境の変化も尋常では BRICsの内部ももめている。 世界の構造を根底から変えてしまうような Ш 南極大陸の氷が急速に解け始めた。 地帯で氷河が一 ない。 斉に後退している。 中 北極海やグリ 石油暴落の -国とインド

スパイにリクルー

て、

ような開放社会では、

防諜活動 インタ

来得意であるはずの

ネッ

トやコンピ

残された最後の息継ぎ期間になるかも 三○年までの二十年間は、ことによったら人類に かり合って削 っているのに、 ガスの過剰排出 石油など化石燃料の使い過ぎによる温 記録破りの O大気圏は温 減努力は遅々として進まない。 先進国と途上国の国 猛烈な嵐 が温暖化を加速しているの 暖 化に伴 つて 家エゴがぶつ が は分か しく

生存の第1要件=情報力

る。 厳しく規制している中露両国と格段の相 大量破壊兵器に関する情報が故意か偶然か誤って る。特に民主主義体制のリーダーとして言論、 支えている点で、 な手段によって操作される陰のパワーであ 集・発信する情報、 から成り立っている。 Information (情報) で最も重要な要素は情報力である。 イラク開戦に際して、 表と裏の情報力がバランスを保ちながら 企業にせよ国家にせよ、 だが裏の諜報活動では苦戦を強いられている。 表現の自由を保障しているのは、 米国は中露より数日の長があ 後者は非公然活動を含む隠微 と裏の Intelligence 前者は公然活動によって収 中央情報局 システムが生き 情報力は表 CIA A 表の情報 違があ 残る上 玉 [家を 表の 集

ばしば 玉 1 中国 ĺ 国防省や国務省のコンピュータ のハッカーが侵入している。 押され気味である。 ての ハッキング 最も活発なの 、や情 ーにもし 報 操 は 作 中 で

頻度で狙いを付けた新たなコンピューターに侵入 網は現在も拡張を続けており、 き止めたと同センターは述べている。このスパイ あ 五. 関その他 をコントロールするサー などのスパイ行為を行っ スパイ網 ŋ, ているという。 カ所に侵入してデータの違法盗用、 トロント大学のムンク国際研究センターによる 仮称 うち海南島、 のコンピュ が活動しており、 「ゴーストネット」と呼ばれるサイバー 四川省、 ーター少なくとも千二百九十 バーは中国内の四カ所に ているという。 世界百三カ国 広東省の三カ所は突 毎週十二台以上の スパイ網 聴、 [の政 盗視 府機

を遮断 機関、 失った。 1, 領 バー攻撃を仕 撃を受け、 が 工 はこの 南 口 シアも負けていない。 オセチアに侵攻したが、 する諜報戦を展開した。 行、 挑発に乗せら ロシアは、 に対 敗北を喫した。 南オセチアのみならずアブハジアまで 掛け、 テレビ・ラジオ局などに執拗なサイ して同様のサイバ 四月ごろからグルジアの政 外部世界との正常な情報流通 れ て先に手を出 〇八年八月、 ロシアは〇七年にも、 逆にロシア軍の猛反 サー 1 カシビリ大統 攻撃を行って してしま グルジア 府

オバマ米大統領は五月末、諜報戦への対応を強

海兵隊、 う指 が、 威力を発揮した な機関を設立する。 を一本化し、 機関がそれぞれ別個に行っているサイバー戦対策 化 F B I , するため、 方向性は正しいと評価できる。 示する大統領令に署名した。 沿岸警備隊の五軍やCIA、 国家安全保障局 かつて大日本帝国を屈服させるのに 「戦略空軍司 やや遅きに失した感はある -戦司 令部」 N S A 令部」 現在は: を のような強力 などの情報 創 連邦捜査局 陸 する 海空、

生存の第2要件=統率力

組

織が生き残るための第二の要件は

「統率力」、

選び出す制度と、選出された人物の力量だ。選び出す制度と、選出された人物の力量だ。かどうかを左右する要素は二つある。リーダーをリーダーシップである。統率力が有効に機能する

独立国 三国と の民主制に移行した。 はその中間 導者が専制的支配を続けているケー 校だったし、 配体制が依然続いている。 秘密警察は姿を変えて生き残 家保安委員会 家の基本原理とする中国は両極端にある。 る民主主義制を取る米国と、 バラ革 による一党独裁体制を放棄し、 国民の自由投票によって国家の指導者を選出 [家共同体 「オ 命 で、九一年十二月のソ連崩壊後共産党 レンジ革命」 ソ連崩壊前に独立を宣言したバルト (KGB) に代表される諜報機関 C I S 制を変えたグルジアを除く他 だが、 を達成したウクライナ、 諸 プーチン自身KGB将 共産党 り、 国も、 旧共産党の幹部や国 形の上では西欧型 専制色の濃い支 ・スが多 一党独裁を国 連時代の ロシア 7 指 \mathcal{O}

> よって選ばれた人物が、 予備選挙と本選挙を勝ち抜き、 違いない。 目ないし五代目 からない。しかし、米国ではル ダーになっているか。 の世界で、 の大統領になっ どんな人物が米 オバマ氏から数えて三代 現時点ではもち 国民の 7 ールに従って長 いるの はまず間 般 露 放投票に ろん 玉

済政策の失敗が長期化すればプーチン再登場 認めることにすれば、二〇三〇 算が大きい。あるいは再度憲法を修正 ア国民の手に委ねられて 率も低下する。リーダーを選ぶ 配が続く可能性もないとは言い と、その後任者がクレムリンの 領に返り咲き、二期 任期切れを待ってプーチン首相が ロシアは二〇)一二年 十二年 Ó ソメドベ 続投したと仮 切れな 権利 年までプー 主になっ 1 下馬 ジ は、 エ 61 評 フ して三 今や て だが -チン支 いる公 心り大統 定 選 する 口 0) 領 確

れる。 れば、 り族または世襲派だ。選んだのは党幹部の りとの見方が多い。 している国がすぐ隣にある。 くの公然情報によると、 一年十月の第十八回中 もっと先ま 問題は中国 人民は関係 その後は胡氏から三人目 最有力候補 一〇三〇年代の中 で独裁権力の継承を固 である。 ない。 は習近平国家副主席 習氏は太子党つまり親の七光 胡錦涛総書記 大過なく一 ·国共産党全国大会で選 ・国を指導する勘定になる。 昨年八月脳卒中 北朝鮮である。 の党総書記兼国家 一期十年務め上げ この後任 定化 でほ しようと シ裏取引 襲わ ぼ 決ま

二〇一二年までに小型核弾頭と米本土に到達でき るべく、 安泰と信じているのだろう。 成できれ 保有国になる計画に全力を挙げている。これを達 る長距離 \mathbb{H} [総書記] ば、金一族による世襲独 弾道ミサイルを完成させ、 強化を急 は三男の金正雲氏を後継者に立 いでいるという。 私裁体制 名実ともに核 そのため の維持は 7

なお手本がある。

九五八

年

 \dot{O}

大躍進

政

策

押されもしない世界の五大国であ 持を国是とする北京政権が同じシステムを取る平 うとするのを、 千万もの餓死 を見て見ぬふりするしかあるまい。 国は命綱である食糧と石油が北朝鮮に流れるの がいかなる制 核保 政 した毛沢東主席は、 権が生き残りを懸けて中 有国入りに成功した。 (者が出ても構わずに核開 北京はノーと言えるか。 裁決議を採択しようと、 人民が飢餓に苦しみ数 一国の前に 独裁権力の堅 玉 地続きの 発を強行 国連安保 例に倣 は押しも お

生存の第3要件=現場力

な姿勢から透けて見える。

ることになる……したたかな計算が

しにすれば、

結局は自分自身の墓穴を掘

北朝鮮の高

\$ 実行に移されなければ絵に描いたもちにすぎ 生き残 従ってこの IJ あ Ì 地 ・ダー ŋ Ó 面に足を踏ん張って生きている現 第三の要件は実行する力、 がいかに英明 策や決定を実行するの ワー を「現場力」と呼びたい。 な決断を下して は 上層

に見せ付けた象徴的な出来事だった。
○九年六月一日、経営破綻して連邦破産法第一一カーとしてスタートしたGMが、創業百一年目のカーとしてスタートしたGMが、創業百一年目の一九○八年九月十六日に新進気鋭の自動車メー

が市場の変化についていけなくなり、 て競争力を失っていった。 ったのか。 幹部が、現場力を軽視した結果招いた典型的な結 て再生を図る羽目になった。 頼みこみ、 ようとした。揚げ句の果ては政府につなぎ融資を を移し、アウトソーシングによって帳尻を合わせ め労働コストの安い中国などの途上国に生 労組員の既得権益を守ることにきゅうきゅうとし 末である。 なぜ世界一の生産台数を誇ったGMは行き詰 日本でいえば民事再生法の適用を受け 企業規模が大きくなり過ぎて経営幹部 それを埋め合わ 統率力を失った経営 生産現場は **| 産拠点** かせるた

れた。オペルはイタリアのフィアットとカナダの舗オペルも売りに出された。すかさず買い手が現 のが裏目に出て、北欧の名門サー 代に、「寄らば大樹の陰」とG 乗りを上げ、 部品メーカー、 裏で各国 規模拡大が自動車業界のファッションだ 首 脳が激しく動い 結局レグナに軍配 レグナ・インターナショナルが名 すかさず買い手が M が上がった。 の傘下に入った ブもドイツの たった時 舞台 老

な条件で経営権を売り渡せる相手を探した。すか五千人の労働者が路頭に迷う事態を憂慮し、有利ドイツのメルケル首相はオペルが破綻して二万

では、 安門事件のみならず、○八年の四川大地震で多数も、権力の側に不都合なら取り上げられない。天 件ですら、 は絶対に腐敗する。現場の人民に不満が充満して 改めて宣言した。マルクスの言う通 裁の堅持を再確認、三権分立を絶対に認め は軍用車両部門を強化する絶好のチャンスである。 重工機械が買収することで暫定合意した。 出した大型乗用車ハマーの生産部門を、 の児童が校舎の下敷きになり死亡した痛ましい事 全国人民代表大会 民間版である。売却が成立すれ はGMが米陸軍向けに開発した多目 でロシア自動 言うまでもない。 ナ社とともに共同出資させた。 行ズベルバンクを動 さずプーチン首相 だが中国にも弱点がある。 中 国も手をこまぬいてはいない。 真の現場力は育たない 真相究明は闇の中である。 (車産業の底上げを図ることに オペル が手を挙げて、 (国会) かしてオペ の優れた生産技術 で共産党による一党独 中国は〇九年三月 、ル買収 ば、 口 G M が 中 シア 的 圧政 軍用 国にとって 絶対権力 兀 ため いないと ハマー *売りに の導入 川騰中 しある。 狙いは 大手 のもと 車 両 レ

軽視していた米国は手痛いしっぺ返しを受けた。 素が十分残って 烈な国際競争に勝ち残 現場力を強化しないと、 移して、 手っ取り早く金もうけのできる金融業に 「製造業は斜陽産業だ」とモ 起 心業家精: 11 る。 神 体力など、 n 才 この先待ち構 ない。 マ 0) 米国に ア ゚メリ 現 ノつくりを ガの 力 は えている激 は 耐 **人力、** 玉 軸 家規 足

模のリストラを 通じて、 現場力の 強 化に取り 掛 か

4

壊した帝国や覇権国家は枚挙にいとまがない。 組織は生き残れない。 システムが生き残るための四番目 である。英語で表現すればCharm。どん 人を引き付ける魅力のない 人心を失って崩 の要件は 魅

n 米中露三大国のうちで、 おおよその見当が 外国から移住する人の多 最も魅力のある国はど 国はどこかを見

融恐慌。 油危機、 崩壊、 住したいとやってくる人たちの流れは途切れな 株価大暴落に端を発した世界恐慌、 争、9・11同時多発テロ、 次世界大戦、 に次ぐ戦争に明け暮れた。 し五億人に達するとの見方もある。 い。自然増も加えて米国の総人口は三億人を突破 二十世紀初頭の恐慌、一九二九年十月二十四日の した。ピークアウトするまでに四億五千万人ない イラク戦 二十世紀から二十一世紀にかけて、 サ 九〇年代のアジア通貨危機、 度重なる試練にもかかわらず、 ブプライム危機、 経済面でも激浪に見舞われ通しだ。 朝鮮戦争、 ベトナム戦争、湾岸戦 そして〇八年九月の金 アフガニスタン戦争、 第一次世界大戦、 七〇年代の石 ITバブル 米国は戦 米国に移 第二 争

ば 住を希望する人たちは、 対するにロ ったもの シ 0) 依然後を絶たない。 アの人口は ソ連崩壊直後と比べれ 減り続けている。 逆にロシアへ 海外

> 11 始

ぜひ移住 したいという奇特な外国人はごく少数

二五年ごろには横ばいに転じると見る向 るが、 は途切れることなく、 い。そして、 しく少ない。 中 増加 のカーブは緩やかになってきた。二〇 たようなものだ。 ロシア以上に海外へ流出する人の波 中国永住を望む外国 人口 は増え続 らが多 |人は著 がけてい

ると批判の的になっている。 ガスの大量排出は、 を失った。特にエネルギーの 魅力は中国、 を引き付ける力を失っていない。総合点で米国の そして力試しの場としてのアメリカは、依然人々 リカを目指す若者たちが絶えないのはなぜなの 次大戦直後の五〇年代、 か。少々色あせても、 翻って日本はどうか。残念ながら日本の生存度 世界のあこがれだった米国式生活様式は、 . ロシアに優っていると判定できよう。 地球環境への負荷が大き過ぎ 自由な社会と向上の機会、 六○年代と比べると輝き それでもなお、アメ 大量消費と温室効果 第二

った。 た。 戦前から大半解読していた。 喫した最大の原因は情報戦で惨敗したことにあっ はかなり危うい。日本が第二次世界大戦に敗北を 日 米英側は日本海軍および 本は連合国の暗号をほとんど解読できなか 外務省の暗号を開

ら現実は全く逆である。 の一番に情報力を強化すべきだった。 めるのが常道 敗者が生き残るには、 である。 まず欠点を直すことから 情報戦で負けた日本は、 特に裏の情報力、 残念なが 諜報の

> を義務付けようとする中国政府の試みは紛れもな い情報戦であり、 己を知らざれば百戦危うし。 あたかも禁句同然の扱い ソースコードの公開 知らず

ぬ

議論し、 策課題は何か。 するのが気恥ずかしいほどの惨状である。 められている時代はめったになかった。 はしないか。 も官僚も報道陣も、枝葉末節にこだわり過ぎてい 二番目の統率力についても、 決断を下すリー 日本が生き残るために最も重要な政 政治的見解の相違を超えて冷静に ダーシップが、 いまさらうん 政治家

りがある。現場力こそ日本の長所であ 「もったいない」精神と、 本流の現場力だった。その底には日 せたのは、経営幹部と生産現場が一体となった日 技術を開発し、それを実用度の高い製品に結 技と言ってよい。世界に先駆けて省エネ、 ただし第三の要件である現場力は、 モノつくりへのこだ 1本人独特の Á 本 省資源 0 実さ 得

と経験の集積の上に、これからの時代が展開される。 と生計を立て、文明をはぐくんできた。 史時代から数えれば約一万五千年にわたって営々 を傾注する必要があろう。 実にするためにも、 力。この島々で私たちは有史以来でも数千 二〇三〇年の世界においても、 そして日本の美しい自然と伝統が醸し 魅力と現場力に満ちあふれた国家として存 る十分な可能性を内包している。 情報力と統率 日本は他に類を 力の強化に全力 その それを現 出 歴史 す 前魅 ッ

つまり公のものという意味である。

雑誌

ジャー

ナリズム」

の雑誌の編集者であればこそ、

版はパ

ブリッシュというが、

これはパブ

鮮金正日の替え玉記事など、

問題報道や欠陥記事

ほかにも最近、

大相撲の八百長疑惑報道、

北朝

事例にこと欠かない。

「主観

「第一人称の

作家佐野真

一の両氏が冒頭、

最近の週刊誌にそれ

雑誌不振に一丸となった対応を

「情報津波」時代のジャーナリズムを考える(下)

高 橋 文 夫

(日経BP社参与)

問 る。 ぞれ厳しい注文をつけた。「週刊誌は新聞が取り なった」 もあるのに、 るようになってからか、 ってしまった。やるべきことやテーマはいくらで 名誉棄損裁判が相次ぎ、 上げないことを書いてきた。だが週刊誌に対する たりし 題にしても、 『週刊新潮』 編集者の愛情が感じられない、 ているのは (田原氏)、「週刊誌の誌面からはこのと では雑誌は置 危ないものには手をつけないように 週刊誌同士でかばったり、 による朝日新聞襲撃事件の誤報 多額の賠償金が課せられ 編集者が極めて臆病にな いてきぼりを食ってし 八百長だ。 読者は賢明 劣化してい 筆を丸

う認識が必要だ」(佐野氏)。 は私物ではない。あくまでも社会全体のものとい

誤報の 襲撃事件」 がりの思い込み記事や不用意な誤報は、 押しかけた来場客側の熱気に比べておおむねどの 最新事情を口々に語る。 題だらけ。 ある。とりわけ今回の や 一人称のジャーナリズム」と書いた。が、 編集者の発言も元気がなく、覇気が感じられない。 やジャケットのネクタイ姿。「朝日新聞襲撃事件 自ら葬り去り、 ……各週刊誌 前号(上)で、雑誌は「主観編集」による「第 次いで、「週刊誌ジャーナリズムは死なな テーマで『文春』『ポスト』『現 「ジャーナリズム」云々を論じる以前の問題で 『週刊新潮』編集者は顔を見せなかった。 誤報は発端から後始末に至るまで、 雑誌ジャーナリズムの存在や必要性を の現・前・元編集長が十人、週刊誌 累を及ぼしかねない行為だ。 『週刊新潮』の 九人までが珍しくスーツ 代 「朝日新聞 『朝日』 「編集」 独り善 問

より強い自戒や自省を求めたい。

押し寄せる二つの大きな流れ

階の R」(リポート= ŋ ような状況に置かれてい られる、と述べた。そのような雑誌 ェブ上のテキストや映像を再確認する手立て、 =安らぎや癒やし、 ンジ=専門度の高い信頼性のある情報、 ディアであり、 雑誌は ティング=信頼度の高い評価・格付け) П К Ц 「書き出しの3行=3」) 「知庫 材段階の 3 K G 現場からのオリジナル報 リコンファーム=テレビ るのか。 「現場主義=G」、 (企画段階 再調査 が欠かせず、 口 顧 リリーフ 仮 が求め 執筆段 道、 説 型 どの 切切 0) 5 レ

面)――である。 雑誌や読者を襲っている(=経済・社会的な側技術的な側面)②「ゲゼル(シャフト)化」が職技術的な側面)②「ゲゼル(シャフト)化」が職力が「津波」のように押し寄せている(=のが、二つの大きな流

津波」となって襲うデジタル情報

『情報津波』現象が起きている」ことだ。ど、IT(情報技術)の発展に伴い、かつてないまず、「インターネットや携帯電話、DVDな

媒体、DVDなどの光学式媒体、雑誌・新聞・書や、全世界でHD(ハードディスク)などの磁気ト=10の18乗バイト)程度とされる。それがいま生み出された情報量は累計で5EB(エクサバイ人類が地球上に登場して以来、ごく最近までに

に匹 らに加速度的に増大、二〇一一年にもZB を洗っている計算になる。 Ε どの電子オンライン情報を加えると、 る。これにインターネットや携帯電話、 で、人類史上作られてきた全情報量を上回るEB 籍などの印刷媒体を合わせたオフライン媒体だけ **バイト** Bという膨大な量の情報 **|敵する膨大な量である。** がある。 =10の21乗バイト) ZBは地球上 何気ないように創 デジタル情報は今後さ が津波のように私たち 規模の量に達すると 全砂浜の砂粒の数 年間23~24 出 テレビな されてい (ゼッ

どこかに置いておく必要がある。とこかに置いておく必要がある。おンライン・オフラインの全情報を湯船いったうな活字媒体の量的な位置づけは、いつも頭のような活字媒体の量的な位置づけは、いつも頭のような活字媒体の量的な位置づけは、いつも頭のような活字媒体の量的な位置づけは、いつも頭のような活字媒体の量的な位置づけは、いつも頭のような活字媒体の量的な位置づけは、いつも頭のとこかに置いておく必要がある。

囚く深く 「ゲゼル化」 が浸透

困を伴う『ゲゼル化』が急速に進行している」こもう一つの流れは、わが国の社会で「格差や貧

は幻想と化しつつある。

フト」「ゲゼルシャフト」の二形態があるとして、F・テンニエスはかつて社会には「ゲマインシャト(共同社会)」の反対語である。独社会科学者化」。筆者が縮めてこう呼んだ。「ゲマインシャフ「ゲゼル化」とは「ゲゼルシャフト(利益社会)

これらを対置させた。

本的中産階級」は有名無実化し、「一億総中流」であった。いまや、声高に語られた輝かしき「日 体の九割に達し、ほとんどが終身に近い正規雇用 三世帯のうち一世帯にまで増えた、 十年前には、「生活程度が中」と答える世帯が全 がひそかにしかし着実に進行している。ほんの二 全雇用の三分の一に届いたなど、二極化や貧困化 になる。ほかにも年間所得三百万円以下の世帯が 十四万円をピークに○七年までに16 来十九年ぶりの低水準となった。 査によると、○七年の の間に、ゲゼル化が一気に進み、ここかしこで 市場主義の浸透により、 世界である。グローバル化の急進展やいわゆる新 は前年比1・9%減の五百五十六万円と八八年以 「ゲゼル化現象」が見受けられるようになった。 寅さん」や「ALLWAYS三丁目の夕日」の 厚生労働省がこのほど発表した国 言ってみれば、ゲマインシャフトは 一世帯当たりの平均所得額 わが国ではこの十年ほど 九四年の六百六 非正規 %減った計算 民生活基礎調 葛 湿用が 節柴又

どころであるべき家庭内でも、親殺し・子殺しがかまり、職場は共同社会から利益社会への色合いを一段と強めている。企業内や、企業と企業の間の関係がギスギスしてくるにつれ、職場ではこれまで段と強めている。企業内や、企業と企業の間の関ル、職場は共同社会から利益社会への色合いを一度と強めている。企業内や、企業と企業の間の関ルががある。

つつあるのだ。増えている――。「ゲゼル化」が広く深く浸

や安らぎなどの持ち味を積極的に読者に りギスギスしてきた読者環境に応じる形で、 されている。 いくことが求められてもいる。 分化や二極化に対応した新しい形の雑誌が必要と かつての総合誌や大衆誌に代わって、 に比べて、お膳立てや背景は様変わりとなった。 総合誌や大衆誌がわが世の春を謳歌してい 失ってしまったことである。 読者層であった中間階級 問題は、 編集者と読者の間の共感や絆を強 雑誌を 雑誌にはまた、ゲゼル化 がすっかり没落し、 中間層に支えら た最大かつ 読者層の細 の浸透によ 提供して 和らぎ 、たころ 単一

自己表出」と「指示表出」

者の主観編集による第一人称のジャー であると先に記したが、 三人称のジャーナリズム」であり、 を指し示すための情報やコメント、 そのまま伝える表現である。 痛くて)痛い」といった人間の心の動きや感情を 出」とは、「(心臓がドキドキして) あっ」 出」と「指示表出」がある、と唱える。「自己表 か』などの著作の中で、 自己表出 思想家吉本隆明氏は 新聞は 新聞は「5W1H型の客観報道による第 より 型の メ 指 ディ 示表出」 『言語にとって美とは アである、 言語表現には 吉本氏 型 指示表出」は何 0 の表現を借りれ 雑誌は データなどの と言い換える 雑誌はより ナリズム」 「自己表 「(胃 なに か

ことができる。

この説に従えば、ウェブ時代にあって、 らえることが望ましい、 けてデジタルメディアとの差別化を進め、生き永 来の特性である「自己表出」 ない、と述べている(『日経』 己表出」 新聞の不振からすると、 化されてしまうだろう、 ラム 仏文学者の鹿島茂氏は 機能はいずれ全滅し、 「活字メディアの危機」で、 機能だけが辛うじて生き残れるかもしれ 活字メディアの中の「自 という結果になる。 活字メディアの 『日本経済新聞』 インターネットに一元 機能に一層磨きをか 夕刊09・4・14)。 最近 雑誌は本 の雑誌 「指示表 0) 夕刊

挙げておきたい。 ウェブ時代の雑誌のあり方に関して次の三点を

リズム」 層 を働かせ、 に工夫を凝らす必要がある。二極化し細分化され てきた読者層に対応して、 分踏まえたうえで、 量にすぎない。雑誌としては、 オリジナルの専門深掘り情報を提供していく。 たずらに気押されることなく、 ともに分かち合 面 津波の中で、 「主観編集」による「第一人称のジャーナ の特性を活かし、 信頼性のある専門深掘り情報の提供 デザインのセンス・雰囲気を共感・共有 編集者と読者が互いに誌面内容への思 大量・迅速のデジタル情報に 雑誌などの活字情報はごく微 高 信頼性のある現場から 和らぎや安らぎの機能 め合っていくことが そうした状況を十 情報提供の仕方

②編集における「3KG」と「5R」の徹底

門性、 G G として、 本に踏まえ、「5R」(オリジナルの現場報道、 分意を用いる必要がある。 雑誌づくりに当たっては、 「仮説・切り口 安らぎや癒やし、 執筆段階の「書き出しの3行 定性情報を付加した評価 K K 再認識・再確認の手立て 取材段階 「3KG」(企画段階 格付け)に十 = 3」) を基 現場主義 専

③クロスメディア化の推進

る。 ジュアル を本格的に推進することが求められる。 に、 とデジタル情報がそれぞれ「棲み分ける」ととも で量的な制約は少ない、 隔があり、物理的に誌面が限られるのに対して、 る。その一方、雑誌には週刊・月刊などの発行間 手が同じ関心領域にある、 デジタル情報は迅速・大量であり、 雑誌とウェブなどデジタル情報との このような親和性や相補性を活かして、 互いにもっと連携を強め、 (視覚的)である、 などの「相補性」もあ などの「親和性」があ 情報の出し手と受け クロスメディア化 提供するうえ 間には、 雑誌 ビ

雑誌よ、止揚せよ

取り組む強い意欲がなければ、編集媒体としてだ(ABC)の公査を受け、自らの雑誌発行の正規部に丸裸の部数を公表するのは、自らの首をくく期に丸裸の部数を公表するのは、自らの首をくく期に丸裸の部数を公表するのは、自らの首をくくり、の公査を受け、自らの雑誌発行の正規部が表現のでは、まずは新聞雑誌部数公査機構

ど。 けではなく、広告媒体としても立て直しは困

りしている動きも参考にすべきだ。 催したり、 け、新聞の必要性を世に訴えるシンポジウムを開 なって毎年四 取り組むよう期待したい。お隣の新聞界が一体と 雑誌不振という「いまそこにある危機」 ンを展開、 そのうえで、 「NIE(教育に新聞を)」 教育現場に新聞を持ち込むよう努め 月六日を「新聞を読む日」と名付 雑誌界全体が打って一 キャンペー 丸と 0) 対応に な

うち積極的な要素が高い段階に 揚とは「古いものが否定され新しいものが現れる 境に適合するよう進化していく」ことであり、 る」(広辞林など)ことを指す。 く、……否定を発展の契機として…… 際に古いものが全面的にうち捨てられるのではな み分けとは「棲む場所を分け合い、 け」できるようなら、新たな「合」の場に自らを ジタルメディアとの競争と協調により「棲 代に雑誌・新聞がそれぞれ本来の特性を極 たデジタルメディアを「反」としよう。 「止揚」させることは十分可能だ。 既存の活字メディアを「正」、勢い 新しく保持され ちなみに、 それぞれ を ウェ 増 い内容の してき いみ分 、の環棲 ブ時 デ

って『合』の高みへと、止揚せよ」「雑誌よ、勃興するデジタルメディア時代にあウェブ時代の雑誌に、こう呼びかけたい。

時代のジャーナリズム』(晶文社・09年2月)参考)高橋文夫『雑誌よ、甦れ~「情報津波」

オー ストリアにF 2大メディアグループが合同 ペーパーと広告のリ で グ

広告のリングを構築した。 る「チロ ユティリア・メディエンAG」とが合同で今年四 『ビルトシャフツブラット』を支配 『クライネ・ツァイトゥング』『ディ・プレッセ』 全国をカバーする無 ス ラー・モーゼル・ホルディング」と、 トリアの代表的メディアグループ二社、 ターゲスツァイトゥング』を発行す 料 のフリーペーパーと 下に置く「シ

R M A は 者がこれらの新聞を手にすることができる。 グ』と競合することになる。 トリア最大の大衆紙 イトルの週刊フリーペーパーのリングが全国を覆 ーストリア」(RMA)と連結する合計百十八タ 新たに設立された合同会社「 発行部数は三百三十万部に達 組み合わせた広域を対象に、 全国広告を取り扱う能力を備え、 特定の地域だけを対象とした広告ば できる」 する商品の強みは柔軟性にある。「わ オーストリアのさまざまな州や地 とい 『クローネン・ツァイトゥン 代表者によると、 地域メディア・オ 兀 広告を提供 百 オース 万の読 この ij 域 か

Μ Aはオー ストリア連邦を構成する八州で、

拠

われは大きな存在ではなく、を持つ編集長を置くことは いる。 のだ」と代表者は集約する。 も保持される予定である。 最西部にある小規模なフォアアー 独自 同じ州の地域新聞と協力して運営されて なフリーペーパーの地域性は、 のフリー くことは考えていない。 ーパーを運営して 従って、 多数の小さな存在な 中枢的 ル 今後と な役割 ベ いる。 「われ ルク

ない。「われわれは参加してきた新聞を一夜で変 成されている。 を尊重したい」と代表者は語る。 に統合するようなことは、 の固定従業員と三百人のフリーアルバイターで構 えるようなことはしたくない。 フリー ペーパーのリングは総合すると、 多様な新聞を一つのタイトルの 差し当たり考えては むしろ、 その強み 八百人 下 11

められることになる。 つプラットホーム「RMAデジタル」の手でまと ンライン広告はいずれ、 新会社は印刷メディアに焦点を置いている。 オンライン部門を受け持 オ

る中小の とは、 のメディアは、 れわれの顧客の大部分は、 心を持って 全国広告の申し込みを受ける可能性にも大きな関 こうした計画を金融危機の時代に発足させるこ さらに両 点になるウィ 何の問題もない。 事業者だ」と代表者は語る。 メディアグループはリングの中心的な いる」と代表者は付け 危機の影響を最も受けにくい。 ンの フリー 「われわれのような種類 今後も広告を出し続け ~ 1 加えている。 1 「しかし、 、チル わ ク

ってきた。

日

刊新聞

配

達は今後とも

チ

口

ル

ル」が担当する。

を問わずすべての印

一刷物の配達をチロ

ル

全州で行

「チロルメール」

は〇五年以

あて名の有

74 • 9 ング」の責任者は述べた。「ファイブラ」の責任 ができるようになる」と、「モー グ」の 取得したことは、この市場でファイブラをさらに 者は「チロルメールから無あて名広告配布事 ペーパーと広告のリングを「シュティリア」グル 成功者の地位に押し上げてくれる」と述べた。 より多くの柔軟性とより高 ァイブラはオーストリア全国規模の活動により、 スト」の子会社「ファイブラ」に委譲する。 て名の無い印刷物」の配布を グ」は今後、 ープと共同で構築した「モーゼル・ ンバーワンの週刊新聞になることだ」と語った。 グ』の責任者は「われわれの目 スツァイトゥング』を買収、 い広告印刷物の配布から手を引くことを決め こうしてオーストリア全土をカバーするフリー 配達を担当している「モーゼル・ 100%子会社「チロルメール」 %を取得した。『ベチルクスツァイトゥン 「モーゼル・ホ 新聞配達に事業を集中し、 い力量を発揮すること ル 連邦競争関係庁 「オーストリ ディン 標はウィーンでナ ゼル・ホ 朩 ホルディン あて名の無 ルディン は、 が ルディ)ア・ポ 「あ 0

全国リングの構築で、 -世界の構図が大きく変わるようであ オー ż ij アの フ IJ ぺ

(広瀬 英彦=東洋大学名誉教授)

Nインターナシ 日 ナ が登場

TV報道に新たな動き②

十文字学園女子大学准教授

ナリズムといえばCNNI」

という地位を確立す

について取り上げてみよう。 いうイメージがある、 ついて、具体的に検証していく。 」を体現していると考えられるTVメディアに どのホテルに泊まっても見ることができる」と たが、今回以 を考えていく上での基本的な視座について書 回 現 時点での「グローバルジャーナリズ 降は 「グロ CNNインターナショナル 1 バルジャー 初回は、 ナリズ 世 界 は、

NNインターナショナルとは

News Network International ニュース専門チャンネルとして一九八〇年にスタ 葉から多くの人が最初にイメージするメディア ートした CNN であろう。 こ の 在、「グローバルジャーナリズム」という言 C N CNNIは、 Nインター 八五年から始めた国際版の放 アメリカ初の二十四時間 ナショ 以下CNNI) ナル (Cable

C N 者は何度も聞いたことがある。 なっていることに気が付いて驚いたという話を筆 行ってCNNを見ると、 H N I を 区 本で「CNNを見ている」 別せず、 やや混同されている向きが その番組自体がかなり異 人 つまり、 人が、 ア C N N と ij カに

> 間帯に「Americ スを対象にした、ナショナルなメディアである。 ールドとした、基本的にアメリカのオーディエン なように、アメリカ合衆国という国を中心的フィ いうニュース番組を持っていることからも明らか あるので注意を喚起しておきたいが、 一方、日本でも衛星やケーブル経由で手軽に視 朝 (アメリカ東部時間で午前六時 a n Μ orning」と から) CNN自体 0) 時

などの ユ 異なっている。 NNJと呼ばれるものが放送されている)、 u Newsなどとタイト r ル共有番組 ヤンネルの番組フォーマット 日本では同時通訳や字幕などで日本語化されたC れている番組は、実はCNNIであり(ただし、 聴可能となっている、「CNN」と一般的に呼ば 9 a t i o у 放送しているが、 ース番 D K i キャスター 0 b n 組 は C N n g b s (ニュース番組の R o o 例えば、 C a m p b Ö) L i v e Ν m 名前を冠したニュー アメリカの ルされ、 T o CNNIではメーンのニ やトーク番組の d など) e は一部の両チャンネ T h e a y ほぼ毎時三十 C N N で は L や W を除いて全く В S i t u О -スプロ r L a r r 両チ l d w 分ず 0 グ n

> 扱ってもその スも必ずしも同 ネルのニュースキャスターは別人で、 が 時間 現在のCNNIが、 別 内容は必ずしも同じではな 一ではなく、 当然のことながら両 また同じニュー 「グローバルジャー 扱うニュー チ スを ヤン

ておこう。 ることになっていった経緯を初めに 簡

中国の学生が天安門前広場で民主化要求デモを始 九八九年の天安門事件の報道であろう。 ルバチョフ・ CNN の名を 最 世界中のジャーナリストが北京に集まる ソ連大統領 初に世界に知ら の中 玉 訪問 しめ 0) たの 当 は、 0 ゴ た

耳目を一手に集めたのである。 を禁止され映像情報を伝えられ が戒厳令を敷くと、 どの海外メディアが映像情報の本国 Nはデモの様子を伝え続けることができ、 込んでいた。このため、 ボラアンテナなど自前の衛星伝送手段 を中国政府の施設に頼っていた中、 めたのが事の起こりであった。 他 の デモが過激化 放送局が伝送施設の このとき、 C N N は への送信手段 し中 一式を持ち ほとん -国当局)使用 C N パラ

よるバクダット が、一九九一 開 国際 そしてCNNの国際報道の評 戦 を CNNIによって知った」 ディアとして、 (外交ルー 年の湾岸戦争であった。 、の第 1 や自 撃をライブ中継 世界の多くの 国の諜報部門 価を決定付 と言わ アメリ 玉 からでは 首脳 た唯 め ij たエ カに たの

I」という地位を確立していった。ていることを誰よりも早く知りたいならCNNピソードは有名である。こうして「世界で起こっ

上 0) 時 つニュースメディアとなっている。 間 の国と地 支局に約四千人のスタッフを擁 まさにグローバルな取 一〇〇九年現在、 のニュース報道を行っており、 ロンドン、 地域に 住む約二十 香港の三極体制で一 CNNIは米国アトランタを 材体制と伝達手段を持 億の人々が視聴 し、二百カ国 世界の四十七 日二十 可 兀 能 以

CNNインターナショナルの目指すもの

での け 取られ、ストーリー 多くの人々はCNNIを「アメリ 速報性と信 いうイメージで見ている向きが多数派のようであ ている」、 であるが、筆者の知る限 こうして世界に均 目標としてはそのようなものではない 「グロー 頼度で高い評価を確立しているCNN つまり「アメリカの声の代弁者」と バルジャーナリズム」として、その (後述) ・化されたニュースを世界に届 一の情報を届けるという意味 はともかく、 b, 日本を含め世界の カの視点で選び 設立の 狙

創設され 点を持つニュースチャンネルとして、 C やフレー てでいくというビジョ 創始者のテッド・ターナー その ムワークを持つ いうナショ l と i n 編集の基本方針は、 t ナル e r CNNとは異なる視 ンを持 な文化的コンテキ a t i CNNIは パってい は早くから ①多様な文 o n た。 a 1

> こと、 方針である。 cess: The Impact Technologies, London, Praeger) じせてられ タビュー。Johnston, め」(ピーター・ベセイCNNI副社長へのイン の取れたものであること、 しない③正確であること、 する②局として一つだけの視点を主張することは 値観を体現しているという、 たものであること――であ 「(CNNIが) アメリカの立場や西洋の文化的価 事実に基づいたものであること、 治的関心を反映した相異なる視点を提供 , Carla of New 徹 時宜を得たものである ŋ ᅜ 批判を乗り越えるた 底的に最新を追求 Communications Global News Ac これらはすべて バランス た

ある。 Credibility: う の集まる米国アトランタの本社スタジオは、 点を確保する手段として採用されたの というナショナルな視点を極力排除し、多様な視 は幾つかの工夫がなされている。まず、 スの選択・解釈」を担保するために、CNNIで なる国籍を有するスタッ 五人いる編 方にも数多く採用されている。 ーナリストのみならず、 キャスター、リポーター、 フに米国人以外を積極的に活用するというもので こうしたCNNIの (Flournoy, Don. 'Coverage, Competition and 多様な国籍を持ったスタッフは、ニュース 爆集者の The CNN 中で、 「CNNとは異なるニュ International Standard 少なくとも十五カ国 調整や映像編集などの裏 フで運営され カメラマンなどのジャ 特に編集スタッフ てい アメリカ スタッ るとい 二十 [の異 1

Global News)°

in

国 よび筆者によるフランク・ 単語を使わないようにしているという(前 させないための工夫として 洋文化)の〝にお 使用言語は基本的に英語 員へのインタビュー)。 を聞くものに意識させる、 でも「アメリカ」というナショナルな背景を感じ 英語を使用する以上、 七年よりスペイン語放送 二つ目 us (われわれ)、 の工夫は、 い、からは逃れられない。 ある程度の英語文化 言葉」である。 t h e であり も開 セスノ C N 特別 内 f o r 始され y (彼ら) と | |外 e i g ている C 地域 の境界 では n Ν $\widehat{\parallel}$ Ι

これらの「選択・ 内容の要件といわれる5 が時間をかけて取材し、 している最も基本的な戦略は、 キストやフレームワー スト自身の視点によっているため、 いく 「Featu ュース)の徹底的な重視である。 News」(今起きたばかりの、 テキストやフレームワークから逃れるために (なぜ) やHow 三つ目に、CNNIがナショ 解釈」はどうしてもジャー (どうやって) r e クが投影され N e w ストーリーを積み上 W 1 B r e a Η S ナル が中心となり、 のうち、 ジャーナリスト 現 文化的 在 な文化 は、ニュース 進 行 k W コンテ 中 的 i ナリ h y げて 採用 コン

O W h e n (だれが)、 に対 В (いつ)、 W r h e a W a t k i h e r 何 n が e が (どこで)、 報 Ν 道 e 0) 中 W

h

なれ 人々は な情 日ライブでニュ e スノCN は これらは比 たり前 特別 こうした方針をうかがい 近 からである。 t 特派員)という中で、 0) だと考えている」 C N N I 0 -スが 較的 K 伝えられ ow」(最初に知る人と 「今や、 脱国家的、 0) 宣伝コピーであるこ てくる状 (フランク・セ 二十四 知ることが В 脱文化 e 況 時 t を、 間 的 で h 毎

送を開始して二年後の一九八七年にスタートした C 0) もので、 R で最も反映したと思われる番組に で、二十年以上続いているところに、この番組 W Ň 番組である。多くの番組 こうしたCNN 0 p NIでの占 r ort」(ワー 主にウイークエンドに放送される三十分 d R e p める位置がうかがえよう。 Ι 0) O ルド・リポート) r 集の基本方 t が改編を繰り は、 C N N $\overline{\mathrm{W}}$ 針をある意味 が 0 返す ?ある。 Ι r が放 1 中 d \mathcal{O}

が制作 世 プロ 始 獄兼ミュージアムのニュースストー ンランド 切手を グラムは、 し 国 番組がユニークなのは、ここで放送され である点である。 た の放 加 0) 界百 Y L E えずに全世界に放送している。 「フォート・ジーザス」と呼ばれる監 用 送局 С <u>Ŧ</u>. NNIが作っ が制作したアル が制 が英語 力 国 作した特集報道 以 例えばケニアのKTN であれ 上 たものではなく、 三百五十以上の 7 ば C ij NN Iでは ル販売規 (Feature か 放送開 フィ 放 制 る

送局の番組を放送してきている

提供し、 との関 いえる。 る人々に対する、 (CNNI 上級副社長は述べている。 けているのだ」とイー ることを、Wor ている、真にグロー かったであろう。CNNIは多様な視点を提供し 点がなかったとしたら、 見てほしい。もしわれわれにそのような配 の疑問があるなら、 い」という姿勢を徹底的に反映したプログラムと な文化的 が、CNNIの News が発生した場合に備えて世界各国 係を強化 もし、 W 局として一つ 政治的 基本的 するための手段という側 われわれとは異なる文化や異な d l d 関心を反映し W o r バルなニュース制作組織であ Report スト っだけの な編集方針である、 R e あのような番組は作らな l d <u>ص</u> p 視点の ジョ 0 た相異なる視点を 配慮にいささか R e p rtは証明し続 は、] 主張 ダン C Breaking O 面 の放送局 派はしな 虚・視 r t もあ Ň N を

アメリカ的な視点から逃れ切れてるか

ない。 おいし 内容を詳 釈を目指すという基本方針にもか 「グロ こうしたCNNIの 1 が感じられるも バ しく分析 ル な視点」によるニュースの選択・解 すると、 のとなって 「脱アメリカ」すなわ Þ はり W かわらず、 ア ることは否め ゚メリ カの その ち

トランスナショナルなニュー 筆者 今回 Oの連載で取り上げる予定の 研 究グ ル 1 プ は、 $\overline{}$ スメディアの 0 六年 グロー 0 バー 報道 ル・ 定期 內

> ク、 べてアメリカのナショ とが分かった。これらのニュースイベント を選択している傾向がうかがえる。 かかわっているものであることから、 回)に比 スメディアであ アメリカ的な関心」 9 · 11 C N 比 N I して、 分析 を試 に関する報 る B 同 同じく 期 みた。 ВС によって報 間 ナルインタレス でアフガニスタン、 グロ まず、 W 道が多かっ 1 量 道 的 するニュ d たというこ な C N N I が トが なニュ 分 は、 色 析 イラ は次 1 0) す 1

選択」 スト情報としても触れられなかっ われたが、 ナショナル いである。 反対デモ映像 ス長官が韓国 み切った北朝鮮に対する制裁の合意を目指すライ ○六年十月十九日の報道で、一 なスタンスを示す注目すべき さらに、 が数多く見られた。一 この映 質的分析においても、 CNNIのみ なニュ 入りした際の、 (反米・ ースメディアのすべ 像は他のグロ 反ライス・デモ) が取り扱わず 例を挙げ 韓国にお ーバル 回目 「ニュ た。 C N N I 0 ース素 てで 核実 ける北制 n 0) 1 取り扱 北制裁 入験に対 Oテク 材

び報道内容に ナリズムでは 制および伝達手段にお このように、 スにも影響され ナリズム~ ·ズム」、 とはなり得 ついては あるもの 現時点ではCNNIはその ま ない、 ŋ の まだ真の いてはグローバル どの 地 7 そのニュー 国 球 な 市 0) _ グロー ナショ 民の 0) で ため あ ス選択およ なジャー ナ バ ルジャ ルバ 0) 取 材体 イ

9年オンラインジャーナリスト対象調査ーユース報道の行方を楽観

Journalism])° Journalism) えであることが分かった(『ニュース・メディア 行方について不安要素は抱えていても楽観的な考 的見方が比較的弱く、 る新世代のオンラインジャーナリストらは、 ると、インターネット上でニュース報道に従事す ディアに関する調査結果がまとまった。それによ イ な手法で新聞紙発行などを続けてきた既存メデ 現状・○九年版=The アのジャーナリストと比べ、将来に対する悲観 ・リサーチ・センターが手掛けるPEJプロジ 米オンライン・ニュース協会 **|** 2009 An Annual (The Project との共同で実施した米国ニュ ニュースジャーナリズムの Report on State for \widehat{O} Excellence of Ň A the American とピュ ースメ News 伝統 in:

ら回答があった。主な内訳は、 のONAメンバーのうち二百九十二人 に実施されたもので、 調査は二〇〇九年一月七日 また別の13%はCNN、 %が] ス報 独立系のニュースウェブサイト従事 道に携わる 調査対象となった千二百人 一マルチ・プラット ABCなどでオンラ から二月 三分の一 十四 24 % か が新聞社 \mathbb{H} 0 間 ホ

> 「(善きにつけ、 リティーの低下と慎重さの欠如」 報道が減少、単に起きたことを伝えるだけの傾向 たのが「既存ジャー リズムの根幹となる価値観を変えた」と回答して 57 % ス思考に左右されるジャーナリズムが加速した」 が強まった」(11%)、 められるようなった」 されるようになった」(31%)、「速報性がより いる点である。 ポータルウェブサイト従事者などとなっている。 (7%)などとなっている。 (8%)、そして「偏った意見や見方が増えた」 ム・ネットワー 的な結果として得られたのは、 が 「インターネットメディアがジャーナ あしきにつけ) この回答のうち最も多く指 ナリズムが維持してきたクオ 第五として「広告やビジネ 25 % 関係者、 多様な意見が反映 第四に「分析的な それに6 45 % 百六十五人 %程: 続いて 指され 求

見られた記事の書き方や説明の仕方において多 割機能低下が感じられ、 特徴である。紙とインターネットの 的 であるかを選択する)ゲートキーパーとしての役 ス発信を続けている新聞社編集長は の質の低下を招くとの見方が多数を占めたことが を必ずしも継承しておらず、 は既存ジャーナリズム機関が持ち合わせた価値観 ンジャーナリズムでは、 「ジャ な取り組みが求められている」と分析する。 インターネット上におけるジャーナリズム活動 ナリズムの将来」 同時に既存の 読者のためニュースが何 につい 特にジャーナリズム ての質問につ 一両方でニュ 「(オンライ 新聞報道で 匍 1

> る。 45%が「正しい方向に進んでいる」と回答していいては、54%が「間違った方向に進んでいる」、

に頑張っていかなければならない。 もかかわらず、悲観的な見方が減少 だった。今回調査が経済低迷の中で実施されたに 引き合いに出している。 底堅さを示していた時期に実施され 新しいことが見えてくるだろう」 もし難いことで、これに向き合い、 交代しているということだろう。 トの発行責任者は について、全米最大新聞社系ニュースウェブサイ 向」と回答したのは62%、「正しい方向」は32% て、 この 報告書では参考として○七年、 回答比率をどのように受け 「(ジャーナリスト 〇七年に これは と語 Ŀ そこか 受け入れ、共 「間; 米経済がまだ していること た調査結果を めるかにつ <u>්</u> 違った方 世代 かんと

い」などの見方も存在する。

一方、「ニュース報道がこの世に存在する限り、一方、「ニュース報道がこの世に存在する限り、一方、「ニュース報道がこの世に存在する限り、一方、「ニュース報道がこの世に存在する限り、

としての成功を八 ている。 会員がのみ込んでいる背景には、 オンラインジャーナリズムの 異なる価値 観 、割以上が確信していることがあ を同居させる大きな助けとなっ 金山 勉 、成否両も =立命館大学教授) ビジネスモデル 方をO Ν А

メデ イア

主第三者委の報道

報道を批判しているのが注目された。 問を投げかけたほか、 を委ねた第三者委員会による最終報告書が六月十 タイミング、政治資金規正法の解釈の妥当性に疑 日、公表された。 る違法献金事件をめぐって、 松建設から小沢一郎前民主党代表へのい 報告書は検察庁の捜査の手法や メディアによるこの事件の 民主党が事件の検証 わゆ

報道に関する部分に限って考えてみたい。 察の捜査にかかわる部分はさておき、メディアの 聞の社説では散々たたかれている。ここでは、検 (『読売』)「小沢氏に甘い」(『日経』) などと、新 報告書の評判はあまりよろしくない。 「的外 'n

うその記載認めた」

第三者委員会による報道批判の柱の一つは

有

罪視報道」である。 従したことを挙げている。 のNHKニュースと、 て、小沢氏の公設秘書が東京地検に起訴された際 報告書はその具体的事例とし 多くの報道機関がこれに追

このNHKニュースは、 「うその記載を認める供述をしている 公設秘書が政治資金規

> と指摘している。 は、 一連の報道によって を占める結果が報道された。報告書は多くの人が は「代表を続投すべきでない」などの意見が多数 を除いて多くの新聞、テレビなども後を追って ことが分かった」というものだった。 「容疑を大筋で認めた」などと報じていた。 これを受けて行われたメディアの世論調査で 小沢代表の説明に「納得できない」、小沢氏 「誘導されたと考えられる」 部 の新聞

ている。 述をした」との報道を否定した。 支報告書に記載した」と述べ、「うそを認める供 従って適切に処理し、 察側に一方的に依拠する報道を行ったと指摘され トを発表したが、NHKはこれを全く伝えず、検 NHKの報道については弁護人が否定のコメン 後に保釈された公設秘書は かつ、 その通り政治資金収 「法の定めに

という見方もあるという。 求めてはおらず、 して記載しただけで ことを知っていながらOBの政治団体を寄付者と 現行法では収支報告書に資金の拠出者の記載を 西松建設から出た資金であった 「虚偽記入」には当たらない それなのにこれを「う

> 告書は述べている。 その記載を認めた」と報じたことは、 裁判開始以前の段階で有罪視するもの」と、 公設秘書を 報

藤

田

博

司

報告書はまた、一

連の報道の情報源として

『産経』 る取材のパターンを持っているとは考えられな る。「関係者」は情報源の性格をことさらあいま 的に「検察情報」に依拠していることがうかがえ を持たれても仕方あるま 的に検察情報に頼っていたのではないかとの疑 い。とすれば、 「朝日」 であることはほぼ間違いないだろう。 査に直接かかわるものなら、 いにするために使われる。 ろう。『産経』や『日経』の報道はほとんど一方 者」とあれば検察関係者を指すものと見てい 売』と『朝日』は「関係者」に偏り、『日経』と ○対五一、『東京』一一対○となっている。 〇、『毎日』一三対六、『日経』 したところ、 伝えた西松献金事件関連の記事 興味深い数字を挙げている。 係者」「捜査関係者」 _ 捜査関係者_ 捜査の主体が東京地検である以上、 は「捜査関係者」に偏っているのが目立つ。 『東京』が 『読売』一八対一、『朝日』 が登場した頻度を新聞ごとに比較 間の西松献金事件報道が、 『日経』 の表記が多いことを指 しかし情報の内容が捜 三月中に中央六紙が 検察筋から出たもの 一対二〇、 で、 「関係者」と と全く異な 「捜査関 『読売』や 一五対 『産 11 経 だ

た。 する以外にすべはない。 名で明示され あった。 れる情報源がどのような性格のものか、 頼りっきりの この事件 判断 メディアとしては反論のしようもあるまい。 業界関係者」などを情報源とするニュースも が、一連の報道で情報源が個人名や役職 の手掛かりがない読者としては、 0) 報 たケースはほとんど皆無に近かっ 道ではほかに メディア」という結論になって 行き着く先が「検察情報 「西松建設関係者」 ただ推測 伝えら

指針無視の「関係者

例 て、 り方をしていては、 献金事件の報道になると、 る方針を示したはずである。 ばかりである。五月の裁判員制度の導入に先立っ るべく避けようということを、 たかのように る報道を避けるため、 れぞれの事件報道の指針として最近、 .外、とでもメディアは言いたげだが、こんなや なみに情報源を 視聴者に予断や偏見を与える恐れのあ 「関係者」が横行した。検察報道は 読者の信頼は得られない。 「関係者」と表記するのは できるだけ情報源を明示す まるで指針などなかっ なのに、 メディア各社はそ 打ち出した 今回の西松 な

ビ撮影も質疑内容の記録の公開も許可されなかっラブでの会見が行われた際、地検側の意向でテレ日、東京地検の佐久間特捜部長による司法記者ク母、東京地検の佐久間特捜部長による司法記者ク検察を批判する姿勢が乏しいことも指摘してい検察を批判する姿勢が乏しいことも指摘してい

の検察取る たとい たちまち出入り禁止を食らうということが、 は、 献金事件報道でもうさんくささが付きまとうの 知られ、 メディア各社は抗議もせず、 外の参加を認めたのに、 縁ではあるまい ることもしなかった、と報告書は批判している。 たとされている。しかしこうした検察側の措置に 検察、 そうした検察の閉鎖性が背景にあることと無 わ 少しでも当局の気に染まぬ記事を書くと とりわけ特捜検察は情報管理の厳しさで れる。 材の経験者によって語られている。 記者クラブは司法クラブ 検察当局がこれを拒否し それらの事実を伝え 加盟社以 多く 西松

新聞の反応に失望

判を受けた事実には一言も触れず、 る。 では自由な言論は成り立たない」(社説十一 報道は受け入れたくないのかもしれないが、それ 産経報道」と名指しで批判された『産経』は、 て、「批判は当たらない」と一蹴して済ませてい 報によりかかった報道」と批判する報告書に対し 失望した。『読売』は社説(十一日)で、 報道批判に対して、新聞が見せた反応には少々、 それにしても、 報告書の中で「政治資金規正法を読み違えた 逆に第三者委員会を批判している。 第三者委員会報告書が指 「都合の悪い 「検察情 調した \mathbb{H} 批

わずか 「耳を傾けるべき指摘がないわ 「朝日」 行触れただけだった。 社説 +== 日 は報道批 けではない」 朝 H 判につ は十 と、 (V Н 7

逐一、反論している。を掲げ、有罪視報道や検察情報依存などの指摘に第三者委員会の「報道批判に応える」とする記事の紙面で、西松献金事件報道を担当したデスクが

ており、 ない。 先 者』などと記した」と記事はいう。 が多く使われたことへの説明はすんなりとは 読者としては首をかしげざるを得な 情報の信頼性を示す必要があるの の秘匿を最優先した結果だ。一方で読者に対して して情報の信頼性を示す」ことになるだろう 反論はそれなりにうなずける。 「ゼネコン関係者」と書くことで「読 すべきなのは「取材源の秘匿」 「関係者によると」という表現 記事の内容によっては 『ゼネコン関 も当然だと考え が、 しかし なのだろう は 「取材源 関 説者に対 係 頂け

け 聞はいま少し謙虚に、 規制の問題を、 ぎだ」という。 クラブの問題があるとするのは 社説(十二日)は今回の一 書の指摘には、どの新聞も触れていない。 が一顧だにする価値もないものとも思えない。新 くうらみがあることは否めない。 は、地検特捜部長の会見で地検が押し通した報道 止めても 第三者委員会の報道批判は緻密さと説得力を欠 メディアに検察批判の姿勢が乏しいという報告 (V 読者に伝えなかったのだろうか。 のではないだろうか。 であれば、 報告書が指摘し 連の報道の背景に記 なぜ司法記者クラブ 「明らかに行き過 しかしメディア た事 一年 事実を受 Ė

(共同通信社社方

ス !!!! !!!!!!!!! IIIIII IIII ウオッチング

許 せ な 政 府 高 官 の ウ ソ

漆間氏の暴言、 谷内氏の三・ ·五島案

含めて考察したい 治的な重要問題であり、 致されるケースが最近! 府高官の 発言が物議を醸 一件相次い マスコミ報道の在り方も だ。 国会に参考人招 いずれも政

西松事件捜査、 自民党の立件は な

と述べたと、一 高官の衝撃的な発言が飛び出した。 H 大久保隆規氏が、政治資金規正法違反 自民党側は立件できないと思う。 後の五日、 あ 同 容疑で東京地検に逮捕された三月三日から二 『高官が の金額で違法性の認識を出すの 郎民主党代表 内閣記者会とのオフレコ懇談で政 西松建設の違法献金事件について 斉に報じた。 (当時) の公設第 六日朝刊各紙 (民主党に比 は難しい」 一秘書 (虚偽記 府

は この発言は、 高 かとの いという観点からの 府高官が捜査情報や証拠を知っていたので 六日 取 疑念を抱かせ、 れる暴言だ。 本来検察の捜査に関与する立場に あくまで一 事の重大性に気付いた 発言であって、 般論であり、 検察への間 接的な圧 違法性 報道

> 間巌官房副長官であり、八日「政府高官とは、京 たため実名公表を決め、 政府は、自民党をはじめ国民からの批判が高まっ 者会の一部 ではない」と匿名のまま釈明する始末。 た答弁」と、 ようなとらえ方は記者がしたもので、 からの 初めて実名を公表した。 「実名報道」 官邸の警察マター 記者の質問に対 一郎の警察マター担当の漆湾河村建夫内閣官房長官が 要請を拒んでい 自 んして行 当 分の 初、 本意

って、 委員会で政府参考人として答弁し、 算委で述べた重要個所を引用する。 違いを究明することが必要なため、 ある」と釈明した。「言った」「言わない 言した記憶はなく、 観測を述べたものである。 シャッポを脱いだ漆間副長官は九日、 問題の発言は一 記者との間には記憶の齟齬がてある。特定の政党を挙げて発 般論として捜査に関する 漆間氏 記者会見も行 参院予算 の食い びが同子

おり、 目は、 思うが、 となる。 を述べた。この種の事件では一 今回の事件につい 訴に持ち込めるだけの証拠を持っているだろう。 の多寡は違法性の認識を立証する上で大きな要素 ないルールだ。同席した秘書官三人にも確かめて だった。私も記者もメモを取らないし、 の認識を立証することは難しい。二点目は、 「三月五日夕刻に行われた記者懇は、 検察が逮捕した以上、 私の記憶の限りでお話ししたい。 それだけで立件できるかは疑問だ。 請求書があるということは傍証の一 て私は情報を持っておらず、 本人が否認しても起 般論として違法性 私は三点 オフレ 録音もし 三点 つと 金額 コ 特

> 捜査が及ぶか及ばない と反省している」 分からない。 述べたが、そういうことまで言う必要はなかった くの皆さんにご迷惑をお掛けした。一 私の発言を記者がどう認識したか 政 党あるいは特定の政党の議員につき 真意が伝わらない形で報道され、 かを申し上げ た記 は、 般論として 私には 憶はな 検 多

という記憶がない」との弁明に終始し 党に捜査が及ぶことがあるかと質問したが…」 追及に対し、 その後の記者会見でも、 漆間氏は 「そういう問 先 0 記者 **懇談** いが で自 った ح 民

0)

が正確だと思っている」と修正するなど〝言い逃 察庁長官であり、権力者としてのおごりがも れ、にすぎない答弁にはあきれた。 記憶と記者の受け止め方にズレがあったというの 強弁していたが、午後の質疑では した暴言と言わざるを得ないのである。 麻生太郎首相も午前の参院予算委で「 「漆間副 漆間氏 誤 長官 は 江警 と

者クラブ制度の閉 ズレ」との政 とめて厳重抗議すべきでは 認できないはずで、 ていた。 社の二十人近くが参加していたようで、 議員の立件はないだろう」とほぼ同じ表現で伝え らない約束の会見とはいえ各紙の一 責任追及が不発に終わったことが情けない。 ところで、 従って「記憶がな 当日のオフレコ懇談には記者会加盟 府側釈明に堂々と反論せず、 鎖性 記者会としての正式見解をま 独善性を指摘する声 い」との漆間弁明を容 なか ったか。 報は メモを取 「記憶の 「自民党 漆間氏 が

つ

まってい 明快な報 る 道姿勢の確立を要望した 権力の 視」に当たるメデ イ

ア

総面積折半の妥協案

四 注目を浴びた北方領 交政策全般につき記者の質問に答えたも オピニオン面 ン・ロシア首相 っくり転載する た 月十七日朝刊に掲載された。 「北方領土三・五島返還案」 『毎日新聞』 事務次官の谷内正太郎政府代表が言及し (九面) のインタビューが投じた一石で、 来日 土に関する谷内氏の見解をそ を控え、 に詳報しており、 論議を巻き起こし 一面本記を受けて が、五月のプーチ 当面の外 のだが、

非軍事的 な戦略 ないかと考えている。 ル チ』という考えを確認した。 いう案もありうる。 民 を位置付けなければいけない。 ギー、環境、 サハリンでの日露首脳会談 の納得できる結果は出てこないと思う。エネ 的 **積を折半すると三島プラス択捉の二〇~二** にすぎない。 ロシア側が、ゼロ回答、というの な地 構図を作り出し、 アプローチだ。 玉 いという意思が大事だ。 独創 域にすることを日露間で合意すると 後、 北東シベリアの開発といった大き 択捉)、 的 私は三・ で型には 北方四 捉 島 あるいは二島 その中で北方四島の問 返還後の北方四島は、 0) [島を両] 五島でもいいのでは 日 面 まらない それが |本側 積がすごく大き 09 国 一島では全体 が四 2 のつまずき アプロ (歯 『型には では両 18 島 歯 で 1

> 質は四 Ŧ. %ぐらいになる。 . 島返還になるんですよ 折半すると Ŧi. 島 ば 実

と思うが、 も含めて丁寧に説明することこそ麻生政権 表が表明したことを伝えた『毎日 案」。この ゲとなっており、 へのとんでもないひぼう中傷ではない これでは「誤報」のそしりは免れず、 に、モヤモヤした ていない。そんな折に飛び出した「三・五島返還 そんな発言はしていない」との強弁に終始した。 北方四島 多くの読者は瞠目した。 注目すべき、打開案、を、 先の漆間発言の隠ぺい工作と同 の帰属問題は戦後日本外交の 日露歩み寄りの展望は依 「四島返還」 政府代表の発言だけ 返還交渉の難しさ 聞 谷内政府代 か。 |毎日 大きな・ 特ダネ 武然開け この責務 新聞 様、

が、 述べ、 ば、 実なのに、 いる』というたぐいの発言は一 ただけで、 首相は「四 題として取り上げたのは当然だ。ところが、麻牛 ている。四月二十一日の参院予算委員会が緊急議 『個人的に三・五島でいいのではないかと思って 「三・五島」 も麻生政権の政府代表として日本外交の要になっ たかもしれないという反省もある」と釈明した 谷内氏は現役外交官の重鎮で、 首 相 実際の返還時期等は柔軟に対応する」と述べ 「全体の 「谷内案」を切って捨てた。 同予算委で参考人として証言した彼は 一島の 外 の持論を表明したのは紛れもない事 が相らの 流 (日本への) 帰属が確認され れの中で誤解を与える部 圧 力に屈 して 切していない」と 外務次官退官後 前 谷内氏が 三言を翻 分があ ħ

> が、自粛、したのだろうか? ドベージェフ大統領との会談には同 明に努めて「国 土問題の話し合いは進まず、 には姿を見せなかったと伝えられている。 月十二日、 はならず、 審議に委ねて経過報告だけで〝打ち止 化してならない重 発言を封じてしまった。 た、ことは明白だ。 (主要八カ国首脳会議) 以降に持ち越された。 谷内氏は二月にサハリンであった麻生首 録音を忠実に再現したことは 政府がまたまた説明責任を果たさぬ メディア界全体の一大事として真相究 東京での麻生・プーチン両 民の 大問題 知る権利」 毎 [毎日] 一 H との認識 新 七月のG8サ 聞 この会談で に応えてほしい。 疑う余地の が肝要だ。 社だけに矮 が 席したが、 イン 国首 にして 相会談 タビ 相とメ な 国 きまま 五 領氏

言の乱 重大局 さらけ出す醜態だった。 自らの失政を隠そうとする、 くなる危機状況なのに、 6 12 長人事をめぐって鳩山邦夫総務相 国民のための行政を停滞させている。 ソ、官僚のとんでもない発言が社会を混乱させ 責任な実態に改めて驚愕させられた。 動を振り返ってみたが、日本政治のバラバラで無 民 政府高官二人の『本音』発言が引き起こし 面だ。 発は 問題もまた永田町政治の ひど過ぎる。 票が 7日本政 池 囲 修復する努力をせ 政治の劣化は目を覆いた 目 治 前に の針路変更につながる 龍夫=ジャー 政 治権 追った総選挙は、 縄 が更迭され 方の 日本郵 政治家 張り争いを ナリスト) 独善と虚 ずに、 た騒 政 0 た

視 聴 議 に 再 び 関 心

視聴率に代わる評価指標求める声

心を集めて このところ 「視聴質」 関する論議が、 再 び 関

番組の広告媒体価値を測る科学的な尺度として利 ちろん、テレビ営業の現場では、その効率性の良 が O用されているという厳然たる事実がある。いきお 特定の番組の視聴率を話題にする時代である。も 11 「視聴率」というコトバが一 放送現場には、 ちということが広く認識されている。 プレッシャー 本来は、 調査結果の迅速さなどから視聴率データは、 テレビ業界の が掛かり、 視聴率アップを求める有形無形 専門 視聴率至上主義に走り 般化し、 用 語 であるはず 普通の が 0

優良放送番組推進会議の質的調査

裏返 放送界に視聴率を追い求める傾向が強いからだと 常にくすぶり続けてきた経緯がある。 テレビ番組の質の低下を招いているのは、 々が見ている番組 く人は多い。 異 聴 代わる評価 他方、 声も強く、 کے 視聴率で示される 視聴者が高く評 指 標を求 視聴率批判と め る声 価

七日

に調

査を実施

兀

旨三十

人の回答から優良番

几

月に発表され

た第

回の調

査では、

K

七番組の報

道番組を対象に、

四月一~ N H

著名人であることから、 告主であることや、 後述するように、 推進会議」 を開始して、 員を対象に、 しばしば取り上げられたためである。 先ごろ、 会員となった日本を代表する大手広告 0) 優良放送番組推進 。調査に関して注目が集まったのは、 話題となった。 調査を支援する会員社が大手広 組織の幹部が大臣経験者など 番組を独自に選定する調 活字系メディ 優良放送番組 アを中心に ·う団 主の 杳

を決めるというもの。 り運営する」とある。 放送番組推進会議 放送で優良な番組が増加することを目指す『優良 結果を世間に公表することにより、 関心のある企業がアンケート調査に協力し、その は、 た会員企業の社員を対象に調査を行 この優良放送番組推進会議の設立趣旨に 同会議のホームページに「放送番組の動向に を設立し、 具体的には、 賛同する会員によ テレビジョン 趣旨に賛同し 優良番組 つい 7

計上は〇点) 会議事務局 い」三点、「 査対象者は対象番組を る会員企業の社員らに毎回番組リストを提 調査方法はアンケート形式で、 特に感想がない」○点、 は、 「興味深く推薦したい」二点、 0) 集計して結果を公表する。 五段階で評価。 「とても興味深く推薦した 優良放送番 「マイナス」(集 調査対象者とな 「普通」 組推進 示。 調

> ニュース」、 ジネスサテライト」(テレビ東京)、二 施している。 月には、ドキュメンタリー ーズアップ現代」(NHK)、 組として順位を発表した。 五位が 四位が 「NHKニュース7」 「サンデーモーニング」 第 番組を対 三位が 位 が と続い 象に調 位が 週刊こども ワー 査 \widehat{T} ル を実 ク ドビ 五. В 口

視聴質 研究の足

今に始まったことではな このような視聴率に代わる尺 度 開 発 0) 研 究

は、

継続的な調査として定着することはなかった。 て、 度 心とした放送局のネガティブな反応などもあり、 で至ったものの、 うとする試みであった。この研究では、 発に着手している。マーケティングの手法を 率を補完する尺度作りとして「充足度調査」 七九年から始めた 他方、当時、 視聴率調査会社であるビデオリ (Qレート)調査を行ってい 番組に接触した視聴者の満足度を指標化しよ 日本民間放送連盟研 調査費用の問題や営業現 「番組カルテ」 0) サー 究 所 チ 尺度化ま は、 番 光場を中 組 の開 視 好 感九

率に対峙する概念として広がり始めた「視聴質」というコトバが広まっていく。ただし、視時質」というコトバが広まっていく。 求める声 しかし、 その発言者により、 ・スが出てくる。 、はくすぶり続け、 民放連研究所が その後も、 「視聴率」に代わる尺度を その意図や示すものが異 そんな中、 「視聴質_ その象徴として「視聴 ただし、視聴 0) 概念につい 九八〇年代

0

動きが活発化。

九七年に、

ビデオリサーチ社

が

式の個人視聴率調査は近畿、

中

京圏でも導入さ

その後、

機械

機械式個人

現在に至っている。

視聴率調査を導入することになる。

実施する関東広域圏の視聴率調査に、

り、一九九〇年代に入って、 ける視聴者属性の明 ある。 は、 は、 る方が、 れれ 質④CM たのかという「視聴者反応の質」ととらえがちで 念として、 このような広告主側の要求は、 ていたのは、「 視聴者の量を指標化した視聴率に対峙する概 しかし、 提供した番組の視聴者属性がより明確であ 消費者のターゲットが明確な広告主からす 視 を 効果的な広告出稿ができるからである。 の質がある 聴者反応の質②視聴者構成の質③番 行 視聴者が番組内容をどのように評価 って 当時、 「視聴者構成の質」であった。そ る。 確化を求める動きにつなが ーとする。 部の大手広告主が強く求 によると、 個人視聴率調査導入 視聴率調査にお 般的に視聴質 聴 組 質

番組評 施。 る視聴者 している。 着目した幾つかの調査研究が、 査」と、 他方において、この時期には視聴者反応の質に [を尺度] 満足 ょ た率 それ 日本テレビは かった率 度調 フジテレビは「FASS」 化 ぞれ短期 という名称で番組評 査を、 する調査を試みている。 間 TBSは 調 「テレビ番組カルテ」と 査は、 ではあるが、 放送局側 その後も継続 「テレビ影響力 価調査を実 と呼ば 視聴者の から登場 N H K n

う、番組評価調査を行っている。ターネットホームページ上で「リサーチQ」といて行われている。また、テレビ朝日は自社のイン

調査が登場するには至らなかっ 収・集計が容易なため、 ータに代わる科学的な裏付けのある汎用性 めた番組評価基準などが議論されたが、 聴率調査不正事件をきっかけに、 ルの在り方など、その信頼性が常に問題となる。 査費用を抑えることができ、 なっていない。また、 に関する注目が集まり、 その後、 方に関する調査研究会」を発足 しかし、いずれも視聴率調 .二〇〇三年に発覚した日本テレビの ネットを用 継続しやすい 民放連に 査に代 かつ、 再び、 いた調 Ĺ 「視聴率等の わる調 調 視聴質を含 査票の 視聴率デ 査 「視聴質」 サンプ 位の高 は、 査とは あ 視 調 口

視聴質」調査の政治性

ック、 Í, う。 いる。 授、 ビ番組に一 人元東大総長、 余りが参加 さて、 キヤノン、 顧問には塩川正十郎元財務大臣が名を連ねて 組織のトップである委員長ポストには有馬朗 同会議の幹部には、著名人が名を連ねてい 大手スポンサー 三井物産など日本を代表する大手企業30 一方、 ように見ていくと、 優良放送番組推進会議の調査に話を戻そ 定の影響力を示そうとする政治的 しているが、 会員企業には六月現在で、 トヨタ自動車、 事務局長には月尾嘉男東大名誉教 を味方に付けることで、 大手広告主でもある。 この調 N T T, 査の 立ち上げ自 パ ハナソニ K D なに D

> る会員は 科学的 明らかにされなけ 者の代表性、 きるのか。 ものと勘繰らざるを得ないのではなかろう 査を立ち上げることによる政治的影響を意識 消されるという問題ではな は低い。 プリングについても不明確な点が多く、 同様の問題を内包する。 提供する番組 戦後、 いを感じずには な調査というより、 社の社員がアンケートに答える際、 この テレビ放送が広告媒体として成長 競合他社が提供する番組に 問題は、 信頼性をどのように担保する 独立した一視聴者として評 れば、 いら 調 ń また、 調査デー 査対象者数を増 な その 61 いずれ 設計段階から、 調査対象者の タとしての価値 か にしても、 やせば解 調 氏を遂げ のかが 西対象 ても、 サン 調

たのは、 とにつながるの 広告主からすればもっともな要求であろう。 を求める声明 表した。昨今のメディア、 を示し得たことが大きかったのではなかろうか。 的な裏付けがある調査データを用い した不祥事に対 他方におい 四月にアドバタイザーズ協会が理事長声明を発 番組や記事に対するプレ 果たし 視聴率調査という、 て健 て、 である。 か。 して遺憾の意を示すとともに改 広告主の名を借りたデー 全なメディ この点につ 連の不祥事を考えれ および関連業界で起こ ア活動を維持するこ ッシャー 曲がりなりにも W ては、 て、 が高まるこ 媒体価値 八剣な議 タによ 科学 ば

(**音 好宏**=上智大学教授)

論がなされるべきであろう。

ħ

の新聞社もやってこられた。

その

中

国 0) 地 全国紙の進出と金融危機 方 紙に2つ 0)

景気後退である。 理されたため、 三年の業界再編で、 置く規模の小さな地方紙。 威にさらされている。 が与えられた。 大手地方紙ではなく、 核を成すのは、 の地元進出、 新 聞 業界で多数派は地方紙だ。 もう一つは世界的な金融危機に伴う しかし今、 日本流に言えば県庁所在地にある 「基層を成す新聞_ より小さな地域紙が大幅に整 一つは全国紙や大手地方紙 その地方紙は二つの脅 第三の 地方紙は、 との位置 都市に本拠を それも、 100 付け 中

波日報』の朱学文氏によれば、 方紙八百十二紙、 地方紙は八百八十二紙。 す広告収入を上げたのは十七紙で、 ~一億元が二十五紙、一千万~五千万元が七十三 百三十八の新聞のうち、 がは皆五百万元以下の広告収入しかない。 もっとも、 新聞出版総署によれば、 五百万~一千万元が七十三紙あったが、 年間 財政基盤からみれば玉石混交。『寧 全国紙二百二十一紙をしのぐ。 億元(一元=約十四円)を超 省レベルで発行される地 市のレベルで発行される 中国で発行される千九 市レベルの地方紙 同じく五千万 それ

> は、 の広告・読者市場を楽々と独占できた。 けが明確だった。おかげで小さな地方紙も、 される市級紙など、「テリトリー」によるすみ つ省全域に配布される省級紙、 由 全国に配布される全国紙、 は 一テリトリー 制に あ る。 市のレベルで発行 省都を中 か つて中 心としつ 地元 玉 分

理

とになったのだ。 都市では、 実化した。 資本力の大きな新聞社との競争に巻き込まれるこ 発行することを認め、このテリトリー制は有名無 経済化を進める過程で、 大手地方紙が進出。 しかし、二〇〇〇年ごろ、 実際、 新たな「市場」に目を付けた全国紙や 経済成長が著しい幾つかの中小 小さな地方紙は、 従前の 党は新聞経営の市場 「区域」を越えて いや応なく

い地方紙も少なくない。 ような、昔ながらの党機関紙体質が一向に抜けな 東省の『東莞日報』など、 鈍いように見える。 ところが、迎え撃つ地元紙の反応はいまひとつ 地元指導者の活動や会議の消息ばかり伝える 危機感は共有されている。広 成功事例もある。 しか

する。 は、 が大手紙に流出してしまっている。 に新聞経営に影響する体質になっている」と指摘 広告収入に過度に依存していて、 そんな地方紙の構造的問題について、 「人材育成に金を掛けないから、 景気変動がもろ 経営面でも、 優秀な頭脳 朱学文氏

脅威をもたらした。 世界的 な金融危機は、 そうした地方紙に新たな

> 主要広告ソースである。 編集委員は警告している。 前年を大きく下回った、 今年一~一 医薬品、 二月期、 化粧品、 不動 自 ح 産、 動車などの広告出 これらは 『広西日報 情報通 信 吾敏朝 聞社 稿量 ・ビス関 が

その他収入はこのうち約三億元に満たない。 り、七分の六を広告に依存している。これでは の収入合計は約二十二億元。 しまう」(朱氏) 広告がくしゃみをすれば、 朱学文氏によれば、 のは必定だ。 浙江省で発行される七十 新聞は風邪を引 しかし、 販売収入・ つま 7

集団・張世傑社長)、「民心を地元紙に結集し、 には、市民の精神文化欲求は高まる。 こだわり、読者のかけがえのないパートナーとな のブランドを構築する」(『廈門日報』・李泉佃 とらえ、コンテンツを刷新する」(長 る」(『東莞日報』・譚軍波副社長)、「景気後退期 解決策はある。「地元紙であることに これを機と 春日報報 徹 底 的 そ 業

だろう。 社は、恐らく環境変化に対応して生き残っ 危機の 中 から、 こうした考えを紡ぎ出 ていく た新聞

居座ってしまう地 ない釜」 問題は、 (朱氏) と考えて、 新 開社を 方党幹部が少なくないことだろ 「昔ながらの のうのうとトップに 食 いっつ ぱぐれ

(参考 休原 聞 戦 正博 兀 月号および五 日 本新聞協会審査室長) 月号

信社社友会総会

度予算、 新会長に就任した。 は退任、 月二十二日 席して開 通 代わって時事通 役員改選などを承認した。 社友会の平成二十 ルに会員百十人、社側二十二人が 正午から東京・東銀座の時 平成二十年度決算、 信社元社長の榊原潤氏が 一年度総会は、 原野和夫会長 同二十一年 通五

だ。 でも進化することを期待している。今後、ご指 れ現象以来、まだこれに対応できていない状態 心配が常にある。 という大変な時代だ。 ような感じだ。 榊原会長は ご協力をお願い申し上げる」と述べた。 間もなく総選挙があるが、これによって少し 「いま、 国力も徐々に劣化しているような 政治の世界も衆・参議院のねじ 人の心もすさんできている 百年に 度の 世界 一同時不況

この後、 次の米寿三人、 喜寿十六人に記念品を

贈った。

達吉、 【喜寿】 中澤喜幸、 【米寿】山田邦之助、 深井明、 信澤宏司、浅草弘安、 池 田時彦、 佐藤稔、 真壁恵吾、 瀧本洋、 有 吉岡伸哲、 村善俊、 都澤恭子、 東田 長 新 得平 海武 谷川

杉原政雄、 新聞通信調査会新理事長に長谷川氏 堀井満、

怪に長 聞 事会を開 通信調査会は五月二十七日、 (財) 同盟 谷川 育 和 成会は同日の平成二十 崩 理 田 事 耕 を互選 理事長 により選出 の退 第二百四 足任を了 年度 +

> 第 回 [理事会で、 Ш 内豊彦理事長の再任を決 めた。



長谷川氏 山内氏

事については両理事長を除いて兼務を解消 と理事会を開き、 財団各八人ずつという陣容となった。 全員両財団を兼務していたが、 評議員全員を改選した。 これに先立ち両 任期満了に伴って理 財 寸 には同 従来、 H これらの役職者は 今回の改選で、 それぞれ 事・ 評 監事、 **:議員会** Ľ 両 理

会)、 事長)と原野和夫理事が退任、 通信社常務取締役、 として再選された。また、 れの理事に就任した。 人が調査会、遠藤勝己理事ら7人が育成会の理事 十三人の前理事のうち、 関口実前評議員 田中吉男前評議員 (育成会) 新たに江口伸幸元時事 前田 理事 西崎哲郎理事ら六 の三人がそれぞ (前調 (以上調査 查会理

局総務) る監事として山岸幸男税理士 会と育成会に分かれて再選され、 監事は中野正彦、櫻井郁生両氏がそれぞれ調 が新たに加わった。 (元時事通信社編集 両財団を兼務す 杳

同盟クラブ新会長に山内氏

同二十 を選出した。 会を開き、 レスセンターで第四十九回同盟クラブ通常会員総 同盟クラブは六月二日、 年度予算報告を原案通り 新会長に山 また平成二十年度事業・ 内豊彦側同盟育成会理事長 東京・内幸町 承認 決算報告、 0 可 日 決 本プ

> 事に選任され 理 事改選では前 连任、 長谷川 中野正彦監事は再 田 耕一 和明氏、 井口 事 智彦 田 が新 洋氏

を語った。 ださい。これからは一会員として同盟クラブが とに建設された。 展できるようサポートしていきたい」と退任 は厳に慎まなければならないが、 の本社も同盟時代の資産を引き継いで、 の D N A を 引 き 継 知る権利、ニーズに正々堂々と応えて戦ってく 懇談に先立ち前 同じDNAといってもなれ合い いでいる人ばかり。 田前会長は「お集りの人は 両通信社は読者 共同、 それをも の弁 時事 同盟

0)

動を乗り越えて新しい時代に通信社の存在感を発 揮できるよう頑張ってもらいたい」と述べた。 になった。こういう時代に時事、 また、山内新会長は 国内でも高齢化、 G 人口減少など大変な時代 Mが国 共同両社が大変 営自 動 車会社

社社員、 寛(かずひろ) 京都八王子市泉町 員)5月22日午後10時23分死去、 中田田 元時事通信社人事部、 和昭氏 (なかた・かずあき=元同 1 8 2 0 7 ° 集計部、 78 歳。 喪主は長男の和 自宅は東写真部社

、締役、 自 元編集局次長) 6 雄士氏 宅は神奈川県海老名 元業務局 (きた・ 長 たけ 并 14 理 Ĺ 市 H 等待遇)、 玉 午 元共同 分寺 ·前 5 台 時 通 信施設常 4 去、86 0) 8

12 喪主は妻の迎 (むかえ) さん。

演題 は 講師は共同通信社政治部次長の石井達也氏。 東京都港区虎ノ門の同クラブで講演会を開い 「政局の行方」だった。 通 (信調 査 会と同盟 クラブは六月二十二

『岐路に立つ通信社』

文、あるいは座談会の内容などを集大成するとと を重ねてきました。 究会」を立ち上げ、 社に関する体系的・統括的な研究が少ないことか く未来までスポットを当て、 ら二○○二年に有識者で構成する「通信社問題研 新聞 現在・未来』 通信調査会は『岐路に立つ通信社~その 通信社を研究してきた専門家に執筆を を刊行しました。日本の通 同研究会で発表された基調論 通信社の過去と現在だけでな 研究論文発表や議論

調査会の前身の 刊行しました。 業の一環として す。その記念事 周年を迎えま 九月に創立五十 会は二〇一〇年 新聞通信調査

> 通信社史刊 送料五百円 すことができないものとの評価も受けています。 認後に配送の手続きを行います。 え以下の口座に振り込んでいただければ、 頒価は二千五百円 位置付けられるものです。 信社史刊行会が過去に『通信社史』を発行して 今回はそれに続く「続・通信社史」と (本誌定期購読の方は送料のみ)を加 (送料別)。 通信社を知る上で欠か 購入ご希望の方は 入金確

郵便振替口座 $\begin{array}{c} 0 \\ 0 \\ 1 \\ 2 \\ 0 \\ \end{array}$ $\frac{4}{7}$ $\frac{7}{3}$ $\frac{4}{6}$ $\frac{6}{7}$

◎古野奨学生を追加募

追加募集する。 (財) 同 .盟育成会は平成二十一年度の古野奨学生を

払い。無利子。マスコミ関係責任者または学校長 の推薦状、保護者の源泉徴収票ほか必要書類を添 生・生徒で、 済は貸与終了後一年間猶予、二年目から最長十年 者。貸与月額は大学生三万円、高校生二万円。返 対象は大学・高校等に在学する志操堅固 申し込みは九月三十日まで。 奨学金の貸与が必要と認められる な学

してまとめまし 立つ通信社」と 依頼し「岐路に

(問い合わせ・申込先) 詳細は同盟育成会ホームページをご参照くださ URL: http://www.doumei-ikuseikai.or.jp

同盟育成会 一〇五一〇〇〇一

₹

東京都港区虎ノ門 五 晩翠ビル

E-Mail 〇三―三五九三―二〇五五 ikusei-k@soleil.ocn.ne.jp

印刷所

座〇〇一二〇一四

—七三四六七番

印

新聞通信調査会

今後どうなるのか。米、 済の命運を握っている中国ですが、この構図は 力を急速に強め、 ているようです。 した「2030年の世界」をご一読ください。 ▽外貨準備高、米国債保有額で米国 今や輸出市場としても世界 中 露の可能性を分析 への影響

定価一五〇円 一年分一五〇〇円(送料とも)

発行所 〒 〇 〇 五 〇 一 財団法人 新 聞 通 信 調 査

東京都港区虎ノ門一―五―一六 슾

E-mali:chosakai@helen.ocn.ne.jp (〇三) 三五九三—一〇八一(代) (晩翠ビル四階)

©新聞通信調査会2009

ていく必要があるようです。 がる可能性も指摘されており、題点が含まれています。例えば ーマです。 批判が強まっている最近の検察当局の動きがテ 月にスタートした裁判員制度と「国策捜査 ▽今月の講 裁判員制度には素人の想像以上の問 演原稿は 例えば報道規制につな 最近の司法の 注意深く見守 動 Ó

す。メディアの在り方そのものが同時に問 しているメディアの姿が浮き彫りにされてい されている通り、 していては、読者の信頼は得られない」と指摘 ▽「メディア談話室」では、 検察情報に振り回され、依存 「こんなやり方を わ ま



畑仲 哲雄 著『新聞再生』 (平凡社新書=七六〇円)河内 孝 著『新聞社』 (新潮新書=七〇〇円、税引

熊 建夫(著『新聞・TVが消える日』(集英社新書=七〇〇円)

「引ま、名法のことによるである。 ったのは記憶に新しいところである。 れ、破綻、合併、再編の大波をかぶることとながいかによって金融護送船団はバラバラにさ がいかによって金融護送船団はバラバラにさ をサービスがおろそかであり、やがて金融ビッ

は、固く口を閉ざす。文化と民主主義、自由な理を排除する最後の業界であることについて批判する新聞界も、なぜか自らの業界が競争原張してきた。ところが、護送船団方式を声高に国民本位の金融サービス強化へ転換するよう主国民本位の金融サービス強化へ転換するよう主国民本位の金融サービス強化へ転換するよう主

も均一、経営内容は不透明、 聞も同じような金太郎アメ、新聞購読料はどれ に、やがて国民は気付き始めた。記事はどの新 であり、 の傾向を増幅したのが情報技術 さい、伏魔殿と感じる人たちが増えていく。こ 由競争を、 船団方式を今なお続けている。 さないことが必要だという論理に立って、 の規制下で保護し、弱肉強食の競争状態にさら 論活動を守るには、 新聞離れが進み始めた。 自らは競争排除という矛盾した姿勢 新聞 を再 何となくうさんく 他の業界には自 販制 Î 度と の登場 いう 護送 国

崩れ行く虚構の塔

聞があぶない』(本郷美則=元朝日新聞社) =元毎日新聞編集局長)、『新聞の時代錯誤』 日新聞専務)、 った。『新聞は生き残れるか』(中馬清福=元朝 はおしなべて新聞界では著名な大記者たちであ 本が書店に並び始めた。しかも、これら を内部告発し、 (大塚将司=元日経新聞記者)、『崖っぷちの新 そうした折、十年ほど前から新聞経営の (池田龍夫=元毎日新聞整理本部 『新聞がなくなる日』(歌川令三 かつ新聞の将来を悲観的に見る ずれも新聞の将来に 警鐘乱打。 長)、『新 の著者 長秘 実態

> る。 ころがその間、 状況が予兆の段階から現実の問題とな ち込み、大手紙を含め赤字会社が続出、 が護送船団に襲い掛かり、広告収入は大幅に落 て顕在化した。そこへ米国発の経済不況の大波 が新聞護送船団の行く手を阻む構造的問題とし 態は着実に進み、IT社会の広がりや新 ないと、護送船団上の宴会が続いていった。と 販維持法で守られている限り、 なかった。まだまだ取材力と販売力があ 新聞が滅んでいく」という悲観 かしその後 著名なOB大記者が予言した事 新聞 界現 新聞の大崩れ 役 陣 にはくみ 0 り、 って 聞離 認 識 再 は れ L

日新聞OBという点も意味深なものを感じる。の一致なのか、この三冊の執筆者はいずれも毎 ったら滝へ落ちないで安全に岸へ着けられる縁まで来ている」という現状認識と、「どうや 刊されたのが、今回の書評欄で取り護送船団危うしの真っただ中で、 よいのか、 消える日 仲氏の『新聞再生』、猪熊氏の である。最後の護送船団は「ナイヤガラの滝 クトを持つ一冊と言える。 よく理解を深めることができる。まず河 て結構きついが、河内氏の『新聞社』、 か」三者三様の処方せんが示されている。 新聞社』 この三 新聞OBという点も意味深なものを感じる。 一冊を短時間で読み切るのは、 」の順に読めば、 は、現時点でもっとも強烈なインパ が、今回の書評欄で取り上げる三 タブーとされる新聞経営の実態紹 ここまで踏み込んで 起承転結の収まり 新聞社』、次に畑 相次 正直いっ 内氏 11 偶然 · で発

ままでは、虚構の塔が崩れるのは時間の問題、 新聞の大義はどこへ行ってしまうのか」。この これを守るため、人や自然を傷めつけている。 果てに築いたバベルの塔のごとき虚構の世界。 はないか、と厳しい診断を下している。 メディアの世界から新聞は退場を迫られるので 主義が生んだなりふり構わぬ乱売合戦。 ることとやっていることがかけ離れ、部数至上 氏が憂慮するのは くものをいっているからなのか。 せることができるのは、新聞界の政治力が大き 告料算定基準、これでよくぞ再販制度を存続さ そしておよそ近代的経営とは 長も知らない実売部数、 「新聞社が紙面で主張してい ともかく河内 あいまいな広 い販売の 挙句の

ビジネスモデルで苦悩

定が強いのは気掛かりな点である。 この。 に『読売』『朝日』に対抗できる第三極をつく を行う。二つ目はITの中に新聞が包含される を行う。二つ目はITの中に新聞が包含される を行う。二つ目はITの中に新聞が包含される を行う。二つ目はITの中に新聞が包含される を行う。二つ目はITの中に新聞が包含される がしいビジネスモデルをつくり、Eペーパー 大型電子手帳のようなもの)を商品化する。 (大型電子手帳のようなもの)を商品化する。 は上、極めて具体的な提案だが、実現可能かど がかは別問題。ナイヤガラの滝ツボに落ちてか らでは遅いのだが、にもかかわらず新聞界の対 らでは遅いのだが、にもかかわらず新聞界の対 にが鈍いのは気掛かりな点である。

畑仲氏の『新聞再生』は、護送船団の周辺

『新聞・TVが消える日』

で、もがき続ける地方紙の事例を紹介する。船で、もがき続ける地方紙の事例を紹介する。船間護送船団の周縁で起こった事例だ。産業としての新聞・業界としての新聞の形よりも、直接での新聞・業界としての新聞の形よりも、直接での新聞・業界としての新聞の形よりも、直接であるが、ところで新したケースなど、いずれも新のがよいところで新したりで、あるいは県間護送船団の周縁で起こった事例だ。産業としての新聞・業界としての新聞の形よりも、直接で、もがき続ける地方紙の事例を紹介する。船で、もがき続ける地方紙の事例を紹介する。船

いわゆるジャーナリズムの目線の高さ、高みか復あるいは再構築するという強い意欲である。 ら地元の人たちを見下ろすスタイルを改め、 う連帯感に基づき、地域の人たちとの関係を修 事例に共通していることの一つは、郷土愛といナロコ、『みんなの滋賀新聞』の悪戦苦闘の三 が次々と育っていく社会に期待を寄せる。 もしれない。畑仲氏はこれらの挑戦にエールを を見ることができるし、再生のカギもあるのか 生につながるかどうか、まだ答えは出ていない どうかの瀬戸際でもがき苦しむ。その結果が再 しかし、収益を上げるのは容易なことではない。 べたをはい回るように県民の目線に立つこと。 ?、こうした活動の中に新聞というものの原形 結局は、自分たちが社会から必要とされるか 『鹿児島新報』のNPO、『神奈川新聞』の 護送船団に加わらないところで再生 0 地 カ 芽

という疑念を持つ新聞人も多い。という疑念を持つ新聞人も多い。というのは他の二冊の評でも触れたようい。というのは他の二冊の評でも触れたように、新聞再生の決め手として、ITビジネスモに、新聞再生の決め手として、ITビジネスモに、新聞再生の決め手として、ITビジネスモに、新聞について触れた部分を取り上げてみたい。というのは他の二冊の評でも触れたようい。というのは他の二冊の評でも触れたように、新聞再生の決め手として、ITビジネスモだきな収入源に容易に成長しない。いまだに本大きな収入源に容易に成長しない。いまだに本たがおけて、当社の大きな収入源に容易に成長しない。

これに対する答えはどうか。猪熊氏も、新聞 といる状態で、ITと新聞のトレードオフ は沈む。まさに未知数のITモデルを抱えさま は沈む。まさに未知数のITモデルを抱えさま は沈む。まさに未知数のITモデルを抱えさま は沈む。まさに未知数のITと歌聞の となどを は沈む。まさに未知数のITモデルを抱えさま は沈む。まさに未知数のITモデルを抱えさま は沈む。まさに未知数のITも に苦慮している大態で、ITと新聞のトレードオフ に苦慮していることが分かる。

い。 (前田 耕一=新聞通信調査会前理事長) とパンの関係は大きな地殻変動の中でどう位置とパンの関係は大きな地殻変動の中でどう位置将来についてである。編集と経営、つまりペン将を触れていないのが、新聞ジャーナリズムの 以上三冊の新聞未来書を紹介したが、どの書以上三冊の新聞未来書を紹介したが、どの書